乳質・対価・コストの均一の条件は整った。今後はそれをどのように活用していくかが課題

東海酪連・赤尾學 代表理事専務に聞く

**指定団体の中でも早くから集送乳の合理化や広域検査体制の確立に取り組んできた東海酪連。
今回は東海酪連の赤尾學 代表理事専務に東海酪連の現状とこれからの方針について伺いました。**

氏　名　赤尾　學

生年月日　昭和22年　8月　3日生（満59歳）

学　歴

【最終学歴】　昭和45年　3月　帯広畜産大学草地学科卒業

職　歴

昭和45年　4月　1日	岐阜県酪農農業協同組合連合会　採用
平成　4年　6月　1日	岐阜県酪農農業協同組合連合会　参事
平成10年10月　1日	東海ブロック指定生乳生産者団体広域化推進協議会　事務局長
平成12年　8月22日	東海地域指定生乳生産者団体 東海酪農業協同組合連合会　参事
平成16年　7月28日	東海地域指定生乳生産者団体 東海酪農業協同組合連合会　代表理事専務 現在に至る

指定団体として、生産者団体として、やるべきことは何か?

本誌：東海酪連のこれまでの取り組みについて教えてください。

赤尾専務（以下「赤尾」）：私たちは平成12年10月に指定団体として発足しました。指定団体の発足に当たって、東海酪連は何をすべきかを十分に検討しました。「指定団体としては」、そして「生産者団体としては」――二つの組織体としてやるべきことの整理をしました。

生産者団体としては、より生産者に近いところで仕事をすべきと考え、生産者の負託に対して応えていける組織をつくっていくことを目的としました。また指定団体についてですが、そもそも指定団体の義務は「全生産者の公平性の確保」言い換えればプール乳価ですし、それを履行するために与えられた権利が、一元集荷多元販売だと思っています。そして一元集荷多元販売をスムーズに行うためには、集送乳業務の合理化やクーラーステーションを利用した需給調整に取り組みつつ、多元販売のための品質(乳質)の向上と均一化が不可欠でしょう。ですから、そのための施設をつくるまでが指定団体としての使命だろうと考えました。

ですから、今回、集送乳業務の合理化とクーラーステーションの整備、そして一元化された検査体制の構築、これができると管内のすべての地域で品質も対価もコストも平等・均一であることを特徴に、プール乳価を実現することが指定団体としての使命で、そのための取り組みを今まで続けてきたわけです。

着地点を決めてから動く

赤尾：そうした指定団体の使命を果たすために、12年10月以降補助金については完全にプール化し、乳価についても13年度にプール化の方向付けをし、そのなかで15年までに学乳を除いて統一しようと計画しました。また、かかるコストに関しては、集送乳経費のプール化を14年度から検討しはじめました。

私たちは乳価やコストのプール化も含め、すべての事業についてゴールをあらかじめ決めたアクションプログラムを立てて進めています。ですから集送乳経費のプール化についても、17年度までにはプール化できるように進めてきました。その結果、15年度には70%、16年度には80%の集送乳コストをプールし、今は17年度から完全にプールできました。3年という時間がかかる背景には、地場取引や農協プラント等でのコストの平準化に時間がかかったことがあります。また、平準化が絶対に良いかどうかの議論もありました。農協プラントのように「自分たちで生産したものを自分たちで付加価値を付けて販売する」という考えと「すべて平等に」という考えでは違う面もありますしね。このような仕組みや意見の整理に、3年の時間を要したわけです。

こうして乳価、集送乳経費のプール化をしたことにより庭先渡しのプール乳価が実現し、より平等な体系を築くことができました。

乳業メーカーから求められる品質のために統一検査体制の構築に取り組んだ

一方、取引を円滑に進めるためには、乳業メーカーからのニーズに応えられる品質(高品質で均一化された品質)を確保するために、“同じ土俵”“同じ目線”で検査する必要がありますので、15年度から統一検査体制の構築に向けて取り組みをはじめました。

統一検査体制の構築に向けて問題となったのが、各会員間の検査体制の違いでした。3会員は組織内検査ですが1会員は公益検査法人での検査で、どのように統一するかが問題でした。結果から言えば、当面は組織内検査をしている3会員については東海酪連で新設した検査施設に統合し、残る1会員については東海酪連がその法人に検査委託を行う形でスタートしました。そして、スタートしてから検査法人とクロスチェックを重ね、検査の整合性などを確実なものにして2検査所で全生乳の検査と乳質改善に取り組む形で立ち上げました。

各会員検査の統合への考え方はまちまちですから、私たちとしては四つの幹を論点に据えて議論してきました。一つはコストの問題、二つ目は利便性の問題、三つ目は平等性の問題、そして四つ目は検査の方向性の問題です。枝葉の部分に話がいくと収集がつかなくなるので、この四つに絞り込んで進めました。

「コストを優先するのであれば、利便性はあきらめよう」と言ったように、四つの中でも比較対象となりえるのはコストと利便性です。平等性と方向性については第1回の会議ですべて了解していただきましたので、この二つに大きな時間を費やしました。最終的に落ち着いたのは、基本的にコスト面です。

検査を内容と緊急性で分散させる

一般に検査にかかるコストは、大きく人件費と機械費です。1カ所に集中することで人も機械も減るので、コスト面はクリアできます。では検査で何を重視するかですが、私たちの管内では約53万検体の検査のうち、40万検体程度が乳質による格付けと牛群検定に使われており、さほどデータのスピードを求められるものではないので、こうした目的にはコストを重視して取り組むことにしました。一方、抗生物質の残留検査など急を要する検査は、1カ所で行うべきではないので乳業メーカーさんやクーラーステーションなど受け入れ施設で対応しようということになりました。乳業メーカーさんやクーラーステーションでは日々の受け入れ検査をしていますから、緊急の検査はそこへ依頼する形をつくりました。

このように、今年の4月には検査を2本立てにすることで、コストと利便性の課題をクリアすることができました。また、9月末には1会員が検査委託していた公益検査法人が解散しますので、すべの会員で同じ検査体制を敷くことになりました。

これで、検査費用や東海酪連の手数料、集送乳コストを平等にすることができました。

ハコはできた。あとは内容を吟味・充実させていくことが課題

本誌：今後の東海酪連の課題について伺います。

赤尾：12年10月に設立して、6年目を迎えました。旧指定団体時代に30年かけてもできなかったことが、すべて実現できました。

集送乳経費の平準化についても、できなかったことをやりました。検査についてもそうです。それでも、今はまだ、「ハコだけつくった」という印象です。集送乳業務に関しても本当に合理化されたのか検討が必要ですし、クーラーステーションの数にしても見直しが必要だと思います。私たちの扱い数量の約6割がクーラーステーションを経由しており、管内に九つのクーラーステーションがあります。さらに合理化するには、五つくらいで良いのかもしれませんし。もっとも、この五つという数字は、まだ管内に約1900戸の酪農家がいたときの数字であって、1500戸を割った今、もっと少なくても良いのかもしれません。一方で、生産地間の距離や高低差から、あまりクーラーステーションを少なくしてもコストと時間がかかってしまいます。こうしたことを平準化した17年度から今、そして20年にかけて整理を進めています。

また、検査についても、岡崎に4県の検査を受ける施設をつくり統一でき、利便性と遠隔地の問題も輸送の内容変更でほぼクリアできています。しかし、検査スケジュールには、まだ課題があります。一つは職員の労働時間です。検体数が多く過重労働になってはいけませんし、いつも同じ日に検査するのもいかがなものかと思いますので、ある程度の抜き打ち検査のための予備期間も必要だと思います。ですから、検査についてはこうした課題の整理・整備をしながら、スタートを切ったところです。ただ、少なくとも今年度内には、この問題もきちんと整理しようと進めています。設備に問題があるなら増強しますし、人員に問題があるなら増員しようと考えています。

*

検査の統合に当たっては、さまざまな意見が出ましたが、「何のために検査するんだ?」という素朴な意見を持つ酪農家もいました。また、検査に対して憎悪感を持つ酪農家もいました。これまでは、「販売するには乳質を良くしなければいけない。乳質を良くするためにはペナルティを課さなければいけない」という感覚で来ましたから、「ペナルティを課すために検査を強化しているのか?」という意識の酪農家もまだいます。ですから乳質と乳価のあり方についても議論しました。

“乳質による乳価の格差”――これはやむをえません。しかし、ペナルティという考え方はネガティブな印象もあるので、乳価テーブルを整備しようじゃないかという意見も出ました。乳価テーブルもペナルティも見方を変えれば同じなのかもしれませんが、酪農家の受け止め方が違います。ですから今、乳価テーブルについても、議論しています。乳価テーブルの整備となるとソフトの開発にも相当なコストがかかるので十二分に意見を交わしてから取り組むことにしていますが、格付けのための検査については「あくまでも私たちの検査は、酪農家からの依頼検査であり、酪農家は自分たちの乳質を良くするために検査を依頼しているんだ」というスタンスをとっていきたいと考えています。

このように、今抱える課題は、「すでにつくったハコにどんな魂を入れていくのか」ということになると思います。

本誌：乳価テーブルの動きについてですが、スケジュールは決まっていますか?

赤尾：乳価テーブルについては、やるかやらないかについても、まだ議論の場に上がっていません。具体的なコスト等について調査しているところです。そうしたうえで、「これだけコストがかかるがやるのか?」と投げかけて、「やる」と決まれば、やっと議論がスタートします。

本誌：乳価テーブルのイメージを教えてください。

赤尾：現段階での乳価テーブルのイメージは、現行の取引基準プラスαをベースしていくものと考えています。プラスαをどこに設定するのかはこれからの議論でしょうが、少なくとも現行の基準を少し超えたところが基準点になると思います。そして、脂肪や無脂固形分など対価が決まる成分について、対価の刻みを決めていこうと思います。また、衛生面に関しては、例えば○万という数値だけではなく、もっと新しい格付け方法がないか研究しています。

本誌：乳質改善は安全安心との関係も深いですよね。

赤尾：もちろんです。安全安心協議会の下部組織に乳質改善委員会がありますが、そこでも農薬等のことよりもむしろ、抗生物質を含む品質の問題を中心に議論を願っており、安全安心は乳質改善とセットで考えています。そして乳質改善委員会には乳業メーカーさんや行政も参加していただいて、ともに考え、とも対処していこうと手を取り合っています。

平成19年度の農林水産予算は『攻めの農政』展開に重点を置く

8月31日、農林水産省は平成19年度農林水産予算概算要求を提出しました。

平成19年度の農政は「21世紀 新農政2006」に基づく国内農業の体質強化と「攻めの農政」の展開に重点を置き、予算の概算要求金額は18年度の2兆7783億円から3731億円増加した3兆1514億円になりました（表1）。

平成19年度の農林水産予算概算要求は、「既往の事務・事業の再点検」「政策評価結果と予算執行状況の反映」「非公共施設費改革」「公共事業改革」「事業の集中・重点化」「予算執行改革」の五つを柱に予算改革を推進し、対外競争力の強化や「攻め」の視点に立った新たな可能性の追求などを重点項目に定めています。

表１：平成19年度農林水産予算概算要求の骨子

１．総括表

区　　分	１８年度予算額	19年度要求・要望額	対前年度比
	億円	億円	%
農林水産予算総額	(28,310) 27,783	(32,138) 31,514	(113.5) 113.4
１．公共事業費	(12,617) 12,090	(14,881) 14,258	(117.9) 117.9
一般公共事業費	(12,425) 11,898	(14,689) 14,065	(118.2) 118.2
災害復旧等事業費	192	192	100.0
２．非公共事業費	15,692	17,257	110.0
一般事業費	9,332	9,866	105.7
食料安定供給関係費	6,361	7,391	116.2

（注）１．計数整理の結果、異動を生じることがある。
２．上段（　）書きは、18年度予算額には地域再生基盤強化交付金措置額、19年度要望額には同措置額に対する概算要求基準に基づく要望額を含む。
３．計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

畜産企画課

1．国産畜産物の競争力強化に向けた生産面での取組強化

事業実施主体：農業者団体、民間団体等
補助率：(1)定額、(2)1／2以内等、(3)定額、1／2以内

消費者・実需要者等の多様なニーズに対応し、一層の低コスト化、高付加価値化等に向けた、担い手を中心とする「攻め」の取り組みをスピード感を持って効果的に推進し、国産農畜産物の競争力強化に向けた力強い生産供給体制を確立するため、地方の自主性・裁量性を高めた「交付金」、先進性・モデル性のとくに高い取り組み等への「国による直接採択」、広域性の高い支援・指導事案への民間団体による取り組みを強化する。

(1) 地方の自主性・裁量性を高めた交付金による支援
　①地域内一貫生産体制の確立、子牛生産部門の協業化や効率的生産のための外部化・分業化
　②地域の各となる協業法人経営体の育成
　③哺乳ロボットを活用した超早期離乳等の新たな生産方式の実践や普及
　④畜産経営を円滑に継承するための離農跡地等への条件整備
　⑤畜産への新規就農希望者の研修の実施
(2) 先進性・モデル性の高い取組当への国による直接支援
　①畜産生産基盤育成強化
　②肉用牛振興を核とした地域畜産新生システム構築事業
(3) 広域性の高い支援・指導事案への民間団体による取組

2．家畜排せつ物の利活用支援

事業実施主体：都道府県、市町村、農林漁業者の組織する団体、公社等
補助率：(1)定額、(2)1／2以内

家畜排せつ物の利活用に必要な共同利用のたい肥化施設等の整備を引き続き支援し、地域におけるバイオマスの有効利用を促進するほか、畜産地域において高機能なたい肥を生産し、耕種地域に供給する取り組みを新たに支援し、広域的に環境保全型農業に取り組むモデル地域を育成する。

(1) 家畜排せつ物利活用施設の整備
(2) 広域的な環境保全型農業の取り組みの推進

3．酪農飼料基盤拡大推進事業

事業実施主体：(社)中央酪農会議
補助率：定額

平成17年3月に公表された「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針(酪肉近)」において、「酪農及び肉用牛生産が有する機能･役割を踏まえ、飼料基盤に立脚した酪農及び肉用牛生産を振興する」こととして、わが国大家畜生産については自給飼料基盤に立脚しつつ「牛―土・草―人」のバランスが

とれた振興を図ることが重要となっている。

とくに、規模拡大が進展している酪農経営においては、個々の経営体が「畜産環境問題に適切に対応しうる飼料基盤」を有し、さらに環境保全、飼料自給率の向上に資する取り組みを行うことにより、自然循環機能の維持増進を図る持続性の高い環境調和型の酪農生産構造を確立することが必要であり、本事業により、その取り組み内容に応じた支援を実施し、国民の理解を得つつ、わが国酪農の発展に資することとする。

(1) 環境保全、飼料自給率の向上に資する取り組みを実施する酪農経営への支援
(2) (1) に加え、飼養管理の変更による一層の環境負荷軽減、飼料自給率向上に取り組む酪農経営への支援

牛乳乳製品課

1．指定生乳生産者団体補給交付金

交付先：(独)農畜産業振興機構
補助率：定額

飲用向け生乳に比べ取引条件が不利な加工原料乳について、その不利性を補うために、生産者補給金を支払うことにより、生乳の再生産の確保を図り、酪農及び関連産業の健全な発展を促進するとともに、国民の食生活の改善に資する。

(1) 加工原料乳生産者補給金等暫定措置法に基づき、生産者への補給金に充てるための生産者補給交付金を指定団体に対し交付するために必要な経費の交付
(2) 生産者補給交付金業務の執行、酪農乳業対策大綱に掲げられた市場実勢を反映した適正な価格形成を図るための生乳用途別取引数量等の確認に要する経費並びにこれらの業務の一部を都道府県に委託するために必要な経費の交付。

2．加工原料乳生産者経営安定対策事業

事業実施主体：指定団体
補助率：定額、3／4以内、1／2以内

加工原料乳価格が需給変動等により低落した場合に、生産者の拠出と国の助成金とによる生産者積立金により、その一定部分を補填し、加工原料乳生産者補給金制度と一体となって、酪農経営の安定を図り、生乳の再生産の確保及び牛乳乳製品の安定供給に資する。

(1) 経営安定対策の推進
(2) 経営安定対策基金の造成

3．学校給食用牛乳等供給推進事業

事業実施主体：乳業者、生産者等が構成する組織、民間団体

補助率：定額、1／2以内、1／3以内

安全で品質の高い国産牛乳を年間を通じて学校給食用に安定的かつ効率的に供給すること等により、わが国酪農の安定的発展と自動・生徒の体位・体力の向上に資する。

(1) 学校給食用牛乳供給事業

都道府県段階で、学校給食用牛乳の供給を推進するため、あらかじめ示す予算の範囲内で事業メニューを組み合わせて実施できるメニュー方式を採用

①学校給食用牛乳の安全・安心の確保
②学校給食用牛乳供給の合理化
③学校給食用牛乳の安定的需要の確保
④学校給食用牛乳供給量の維持・拡大
⑤飲用習慣定着の推進
⑥知事特認事業

(2) 学校給食用牛乳消費定着促進事業

4．乳業再編整備等対策事業

事業実施主体：農業協同組合、農業協同組合連合会、事業協同組合等
補助率：定額、1／3以内、1／5以内

国際化の進展を踏まえ、その影響を直接受けることになる乳製品工場の再編合理化、高度な衛生管理水準を備えた乳業工場への集約化を図るとともに、生乳流通の安定とコスト低減を図るため、集送乳の拠点となる貯乳施設の集約化等を支援し、わが国酪農乳業の発展基盤の構築及び牛乳乳製品の安全確保に資する。

(1) 効率的乳製品工場整備対策
(2) 廃止工場対策
(3) 共同配送移設整備対策
(4) 集送乳合理化等推進整備
(5) 再編整備推進対策

5．国際農畜産物の競争力強化に向けた生産面での取り組み強化

事業実施主体：民間団体
補助率：1／2以内

安全・安心な牛乳乳製品の安定的な供給を図るためには、その原料である生乳の需要に応じた生産が重要であることを踏まえ、生乳需給見通しを策定するための取り組みを推進する。

(1)生乳需給見通しの策定
ⅰ　需給見通し策定のための検討
ⅱ　聞き取りやアンケートなどにより要因調査
ⅲ　需給見通しプログラムの検討等
(2)生乳検査体制の整備

ⅰ　乳脂肪など乳質の統一的な検査方法の検討
ⅱ　統一的な乳質検査方法のマニュアル作成
ⅲ　統一的なマニュアルを用いた研修会の開催

■ 畜産振興課

1．飼料増産に向けた取り組み

事業実施主体：農業者団体等
補助率：定額、1／2以内、1／3以内等

輸入飼料への依存から脱却し、飼料基盤に立脚した循環型畜産への転換を実現するため、水田における効率的な飼料作物の生産、不作付地等を対象とした飼料基盤整備の推進、稲発酵粗飼料や稲わら生産・利用の拡大、水田や耕作放棄地等における放牧の拡大、TMRセンターを中心とした地域の飼料生産・供給システムの構築を推進

（1）強い農業づくり交付金
（2）耕畜連携水田活用対策事業
（3）国産粗飼料増産対策事業
（4）草地畜産基盤整備事業
（5）酪農飼料基盤拡大推進事業

2．エコフィード（食品残さの飼料化）対策

濃厚飼料の自給率向上を図るため、地域で発生する食品残さ等の未利用資源の飼料化に係る技術情報等を普及し、畜産農家がエコフィードを安心かつ安定的に利用するための認証制度を検討するとともに、先端的・モデル的な食品残さの飼料利用を効率的に進める取り組みを推進。

（1）ソフト事業
事業実施主体：民間事業者等
補助率：定額
①食品残さ飼料化対策推進事業
ⅰネットワークづくり
ⅱエコフィード認証制度の創設
ⅲ普及啓発

（2）ハード事業
事業実施主体：農業協同組合（連合会）、公社、農事組合法人、事業協同組合（連合会）、企業組合、協同組合等
補助率：1／2以内
①未来志向型技術革新対策事業

「牛乳に相談だ。」キャンペーン
2年目の「夏」

ターゲットとターゲットの親に近い“現場”で展開

生乳需給緩和の原因の一つでもある飲用牛乳等の需要低迷。

その回復と需要拡大は、今後の酪農乳業の発展にとっても大きな課題です。

中央酪農会議ではこうした需給状況の改善を図るべく、

牛乳消費拡大事業「牛乳に相談だ。」キャンペーンを展開しています。

そして、この夏2年目を迎えた「牛乳に相談だ。」キャンペーンの取り組みを報告します。

大好評の「ラブレター編」に続くテレビCMは「チョーク編」

「牛乳に相談だ。」キャンペーンのテレビCMは、昨年度のカンヌ国際広告祭でブロンズを獲得するなど、その完成度とユーモアで注目を集めました。

この夏は、そのブロンズを獲得した「ラブレター編」と新たに制作された「チョーク編」の二本を放映。新作の「チョーク編」は、牛乳を飲んで集中力の高まっている生徒が、先生の様々な激しいチョーク攻撃を軽い身のこなしやお箸を使って鮮やかに避けるという設定です（CM写真参照）。

この夏は放映するエリアを拡大し、関東で2500GRP※、首都圏以外の八つの地域ではおよそ1500～2000GRPの投下量で1カ月間実施しました（８月中）。

※GRPとは?

GRP＝グロスレーティングポイント（延べ視聴率）。到達率（リーチ）に平均接触頻度（フリクエンシー）を掛け合わせた数値。平均視聴率5%のTVスポット200本で1000GRPとなります。

牛乳に
相談だ。
Fin.

夏休みでターゲットが集まる原宿を「牛乳に相談だ。」がジャックした

7月16日（日）から8月31日（木）までの夏休み期間中、原宿・竹下通りを「牛乳に相談だ。」キャンペーンがジャックしました。

JR原宿駅前竹下通りから伸びる商店街とのコラボレーションのもとに展開された本施策のメインストリームは、全長約380mの商店街に計11枚のフラッグと3枚の横断幕の掲示です。それぞれ両面に、計28種類の“竹下通りバージョン”のコピーを掲示しました（写真1～3）。

01

02

03

04

フラッグは竹下通りやターゲットのライフスタイル、ファッション、悩み等を素材にしたコピーで、横断幕は警視庁原宿署の防犯コピーとのコラボレーションでどちらも今回の期間限定オリジナルコピーです。

竹下通り入り口のファストフード店（3店舗）では、キャンペーン販促用ツールの一つである乳シールpart2をプレゼントするコラボレート企画も展開しました。竹下通り商店街入り口に設置されているオーロラビジョンでは、「牛乳に相談だ。」キャンペーンテレビCMも放映されました(写真4)。

05

お台場冒険王で「ものまね紅白presents有名人の集まるカフェ」とコラボレート

夏休み期間中、東京都港区お台場・フジテレビ本社屋で催された「フジテレビ お台場冒険王2006」でも、出展する「ものまね紅白presents有名人の集まるカフェ」と「牛乳に相談だ。」キャンペーンがコラボレートしました（写真5～8）。

同カフェでは「牛乳に相談だ。」オリジナルのミルクドリンクを提供。オリジナルのミルクドリンクは、「ミルク（本当においしい牛乳に相談だ。）」「ミルクと抹茶のラテ（抹茶牛乳に相談だ。）」「ミルクとイチゴのラテ（いちご牛乳に相談だ。）」の三つ、そして「冷たいパスタに相談だ。」や牛乳や乳製品でそっくりものまねメニュー「TOFUのそっくりさん（牛乳をふんだんに使用したチーズケーキ）」「目玉焼きのそっくりさん（ブラマンジェ）」が期間限定でサーブされました。

もちろん、店内モニターではテレビCMも放映されました。

06

07

08

全国203駅、12路線でポスター掲出

昨年の夏期・冬期と同様に、全国の主要駅で駅貼りポスターを展開しました。また、新しい試みとしてマド上広告も併せて展開しました。(8月上旬から9月上旬)。

この夏のポスターは、おなじみのデザインに8つの新たなコピーで展開しました。掲出総数は203駅、マド上広告は12路線で展開しました。また、ターゲットの集中する渋谷や新宿、大宮、お台場の駅では連貼り展開するなど、より効果を高めるように工夫しました。

キャンペーンツールもパワーアップしました

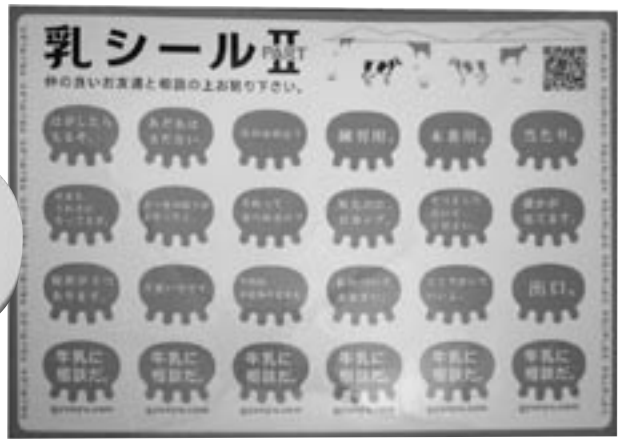
酪農家や酪農関係団体、乳業者などにターゲットとのコンタクトツールとして、組織活動や販促にと広く活用していただいているキャンペーンツールも、一部アイテムを変更しながら継続して制作しました。

新たにミニストレスリリーサーキーチェーン（写真9)、付箋紙（写真10)、のぼりの3つのアイテムを追加し、B2ポスター5種セット、Tシャツ(写真11)（LLを追加)、ミニポスターシールはキャッチコピーを一新しました。車両等用ステッカーやキャンペーンボード、紙コップ、ロゴ入りクリアファイルは昨年と同じものを用意しました(写真12は乳ミニポスターシール)。

11

09

10



12

13

量販店のチルド棚で母親向けプロモート

このほか、今年はキャンペーン効果をより牛乳の消費に直接結びつけるため、量販店の売り場プロモーションにも取り組みました(写真13)。

実施したのは、すでに一定レベル以上のキャンペーン認知度を獲得した関東地区と横浜・新潟・京都の3つのモデル地区です。中央酪農会議では売り場プロモーション用の販促ツール(スイングPOP=写真14、棚間POP、短冊ポスター=写真15、オリジナル棚下シート=写真16)を広く活用していただくため制作しました。キャッチコピーは、各ツールとも8種類用意しました。

売り場プロポーションの狙いは、こうしたツールを牛乳売り場の目立つところに掲出し、買い物中の母親に広く訴求することです。母親が「今日の買い物どうしよう…」と考えているタイミングで牛乳購入意欲を喚起する仕掛けとして、ロゴやコピーを掲出してもらうなど売り場への提案を行いました。

14

15

16

相鉄ローゼン・六ッ川店の場合

横浜市南区の相鉄ローゼン・六ッ川店では、チルド棚を「牛乳に相談だ。」売り場販促ツールで装飾し、売り場プロモーションを実施しました。同社のチーフバイヤー・長 一考さんにインタビューしました。

Q1:「牛乳に相談だ。」プロモーションに取り組んだきっかけは?

A1:タカナシ乳業さんから今回のプロモーションのお話があったことと、昨年、1年間3-A-Dayのデジ POPを使ったプロモーションもしていたことから、私どもとしても、牛乳購買の底上げを図らないと日配食品部門の数字が上がらないこともあり、『是非に』と参加希望に手をあげました。

Q2:プロモーションのスケジュールは?

A2:8月12日から9月末までの展開予定です。六ッ川店では8月28・29日の2日間、マネキン販促も実施しました。

Q3:売り場プロモーションのターゲットは「中高生の子供を持つ親」。実際にマッチしている?

A3:「牛乳に相談だ。」キャンペーンにおいては、「中高生への牛乳の訴求」を中心に様々な展開がなされているようですが、その訴求が進み、「中高生の子供を持つ母親」というターゲットにも浸透すれば、牛乳に対してより関心が高まるのではないでしょうか。中高生になると牛乳を飲まないというデータも出ています。ここをターゲットとする「牛乳に相談だ。」キャンペーンは、将来のことを考えれば、適切なターゲット設定といえるのではないでしょうか。

Q4:売り場プロモーションの反応は?

A4:白と青を基調とした販促ツールで売り場を飾ることで、夏の暑い時期に大切な清涼感を感じさせることができるという点で、非常に好感を持って頂いているようです。これは私たち現場を担当する者からも、またお客様からもそうおっしゃっていただいています。"目を引く"という点で、高い評価を得られていると思います。

Q5:売り場プロモーションに取り組む前から「牛乳に相談だ。」は知っていた?

A5:はい。昨年からテレビCMが流れていたので、それを見て知っていました。

カウパレード

「牧場の食といのち展」で酪農や牛乳乳製品の大切さをアピールしました

――カウパレード 東京 in 丸の内 ――

東京都中央区・丸の内のオフィス街で9月6日から10月1日まで、カウパレード 東京 in 丸の内が開催されました。

カウパレードはグラスファイバー製の牛に芸術家らがペイントして街に飾るイベントで、1988年にスイスで開かれた後に世界で広まりました。今年もアメリカやイギリスなど6カ国・8都市で開催される予定で、東京では65作品が出展されました。

なおカウパレード終了後には、各出展牛はオークションにかけられ、その売り上げは芸術・教育福祉団体に寄付されます。

千代田区立・九段小学校の生徒が「牧場の食といのち展」を訪れた

酪農と食、いのちに関して講演する立松和平氏

牧場で使う道具を片手に酪農の“職”を話す酪農家

丸ビル屋外ではブラッシング体験や哺乳体験が行われた

丸ビル内の喫茶店も「牛乳に相談だ。」キャンペーンとコラボレート。オリジナルレシピも提供された

（社）中央酪農会議と関東生乳販連、ホクレンの3団体は、今回のカウパレード期間中に、丸ビルで酪農ふれあい体験イベント「牧場の食といのち展」を開催し、地域交流牧場の会員酪農家らがカウパレードに訪れた家族連れや小学生をはじめ、広く消費者に酪農や酪農と食、いのちの関係について説明しました。

取材日にはホルスタイン、ジャージーの2頭の子牛へのブラッシング体験と哺乳体験のふれあい体験が催され、さらに各種パネルや酪農用具の掲示、モーモークイズを通じて訪れた人々に酪農への理解を呼びかけました。

また、千代田区立・九段小学校の生徒らが授業の一環で訪れ、作家・立松和平氏の講演を熱心に聴いたり、酪農家から乳牛のメカニズムや酪農家の仕事、道具などの説明を受けるなどして、産業としての酪農、動物の命の大切さなどを学びました。

＊

都会の真ん中に突如現れた彩色豊かな牛や本物の子牛に、家族連れだけでなく会社員やOLも関心を寄せていました。

シリーズ：各指定団体の計画生産への取り組み3

東北の場合

中央酪農会議では、生乳需給の緩和等の厳しい状況を踏まえ、13年度ぶりに減産型計画生産を実施することとなりました。これを受け、本誌面において各指定団体の計画生産への取り組みを順次紹介しています。前回は北海道と関東の流れを紹介しましたが、本号では東北と九州の取り組み内容を紹介します。

東北生乳販連では、平成18年度の生乳需給がかつてない緩和状態になり、脱脂粉乳・バターともに大幅な在庫増加となり、計画生産枠内であっても販売不可能乳が恒常的に発生するような厳しい需給状況にあるとして、減産型の計画生産を実施するとしています。しかし、酪農生産基盤の弱体化を招かない配慮として、販売基準数量に加えて特別枠を設定し、地域・個別経営の実情に応じた選択的生産抑制策を実施するとしています。

*

東北地域の出荷目標数量は、中央酪農会議から配分された販売基準数量に計画生産枠外扱いであるチーズ・全乳哺育向け、さらに特別枠と1%アローワンスを加えたものとし、平成16・17年度の実績を基礎に各県の出荷目標数量を設定しました。

特別枠については、その財源確保のため、平成16年度の生乳需給調整等安定対策資金（とも補償拠出金）、年度末精算資金残額及び平成17年度の残額を活用し、不足分については平成18年度4月分以降の乳代精算金より30銭／kgを控除し、計画生産対策資金として積立が実施されます。生乳出荷抑制策としては、東北地域全体の取り組みとして体細胞数による出荷抑制対策を実施し、支所会員による取り組みとして①乳牛の導入・増頭の抑制、②低乳質牛の淘汰、③乾乳期間の延長、④不需要期における自家育成牛への全乳哺育への仕向けにより出荷抑制、⑤乳業者からチーズ製品を買い取り当該酪農家へ還元、等を選択的に実施し出荷を抑制するとしています。

また、牛乳・乳製品の消費拡大対策として、別途要領を制定し、酪農家一戸当たり60個（200g／個）以上のバターの消費拡大と宅配牛乳の推進を図り、さらに東北生乳販連会報Viewsの号外で駄牛淘汰や一日バケツ1杯以上の全乳哺育実施の呼びかけを行われています。

表1　東北地域の特別枠実施数量

特別枠Ａ （脱脂粉乳在庫削減）	6,849t
特別枠Ｂ （脱脂粉乳・バター在庫削減）	1,000t

表2　出荷目標数量の達成対策

特別枠A・B	乳製品在庫対策の実施による特別枠にかかる財源確保のため、平成18年度4月分以降の精算乳代より30銭／ kgを控除し、計画生産対策資金として積立を実施。
東北地域全体 による取り組み	体細胞による出荷抑制対策
支所会員による 選択的取り組み	①乳牛の導入・増頭等の抑制
	②低乳質牛の淘汰
	③乾乳期間の延長
	④不需要期における自家育成牛への全乳哺育への仕向けにより出荷抑制
	⑤乳業者からチーズ製品を買い取り当該酪農家へ還元

各指定団体の計画生産への取り組み　その3

九州の場合

九州の今年度生乳計画生産対策は、まず、全国からの配分数量（基本枠）を平成16年10月から平成17年9月までの会員別生乳出荷実績数量に応じて按分し、平成17年度計画生産ペナルティ、新規就農枠の申請、アウト・イン申請の合計数量を平成18年度会員別生乳計画生産数量として設定するとしています。

生乳計画生産数量の管理と需要期生産対策を行うため、月別に生産者別生乳計画生産数量の設定を行い、その実績を旬・月別に集約し需給状況を的確に把握し、農協別・個人別に生乳需要に見合った需要期生産に努めることとしています。会員ごとの生乳出荷実績数量が、生乳計画生産数量に対し未達及び超過となった場合、供給責任の明確化及び適正な計画生産管理を行うため、九州生乳販連として全国配分数量の達成及び未達成にかかわらずペナルティー措置を行うとしています。

表3　生乳計画生産数量に対する未達・超過の措置

未達に対する措置	年度終了後、生乳出荷実績数量が生乳計画生産数量から1％を超えて未達となった場合、翌年度の生乳計画生産数量から当該未達数量を削減、及び1kg当たり40円の金銭ペナルティを徴収する。
超過に対する措置	年度終了後、生乳出荷実績数量が生乳計画生産数量から1%を超えて超過となった場合、翌年度の生乳計画生産数量から当該超過数量の削減、及び1kg当たり40円の金銭ペナルティを徴収する。
需要期供給促進特別措置	需要期の生乳供給を促進するため、7月～ 10月（累計）の生乳出荷実績が前年同期の実績を上回った会員は、その上回った数量について超過に対する措置の適用から除外する。
災害保留措置	年度中に発生した自然災害等により影響を受けた生乳計画生産数量について、希望する会員は災害保留数量として平成19年4月末日までに申請する。
新規就農枠数量に係る未達の措置	新規就農枠数量として設定した数量については、本年度の未達に対する措置より除外する。

特別枠については、各会員への基本枠の配分後、会員より希望申請がある場合は中酪へ申請することができるが、特別枠での乳代は当該会員へ直課とするとしています。

またその他にも、生乳生産基盤の弱体化防止と規模拡大者の生乳生産が円滑に行われるよう、生産調整対策として規模拡大者枠の設定と会員内の流動化促進を導入し実施するとしています。

表4　生産調整対策

規模拡大者枠の設定	各会員は、第一次設定数量より概ね１％を預かり、要件を確認の上、該当する規模拡大者へ適用する。
会員内の流動化促進	必要に応じて会員内の流動化を実施することができる。

■平成18年度牛乳消費拡大対策事業について

九州生乳販連においては、九州の酪農を取り巻く環境について、飲用需要の低迷が様々なマイナス要因を招き、今や危機的な状況にあると認識しています。こうした状況の中、これまでの牛乳消費拡大事業を振り返ると、単年度による意見広告等を展開してきたため、九州の生活者に対し「九州の牛乳」として根付くまでには至っていないとの認識があり、こうした問題意識から18年度の牛乳消費拡大対策事業はスタートしています。

一方、生活者からは「安全・安心な牛乳」の供給が求められています。原料乳生産に対する法整備も進んできています。九州生乳販連では牛乳消費拡大の観点から安全安心の訴求も重要な課題と

して位置づけています。

九州では、生活者の「安全・安心」「地産地消」「食育」といったニーズを踏まえ、九州の酪農が誇れる“ブランド力”を育て、将来に渡った安定的発展を目的とする牛乳消費拡大対策事業を展開していくことを目的として積極的且つ戦力的に実施していきたいとしています。

1. 九州生乳販連が実施する事業

以下にあげる基本戦略のもと、九州生乳販連が実施主体となります。

（1）クオリティー性の高い「九州の牛乳」のキャラクターで認知度を高める

（2）「安全･安心」「地産地消」「食育」の啓蒙をすることで、「九州の牛乳」への理解を求める

（3）仕事を持ちながら家事もこなしている女性が増え、そのような女性に対応した「九州の牛乳」で作る料理レシピを紹介する

（4）三位一体【生産者・乳業者・生活者】のキャンペーンを行う

（5）全国の牛乳消費拡大キャンペーン「牛乳に相談だ。」（中央酪農会議）と連携

具体的事業内容としては､平成18年7月から平成19年3月まで､生産者乳価対策資金から約1億円を充当し､以下の方法にて実施するとしています。〔（4）～（6）については別途予算〕

（1）九州内のTV局・ラジオ局でのCM

（2）ホームページの作成（九州の牛乳を啓蒙）

（3）牛乳パック1／4面を使って「九州の牛乳」を使った料理レシピや「九州の牛乳」についての幅広い広告を掲載（乳業者に協力依頼）

（4）九州内スーパー店舗の牛乳売り場でのポップ設置と「九州の牛乳」を使った牛乳レシピ無料配布の実施

（5）「九州の牛乳」の看板掛け替え、ステッカー作成（営業車・タンクローリー・保冷車用）

（6）「九州の牛乳」のキャラクターを使ったテーブル用バターケースのパッケージをデザイン

2. 会員が主体となって実施する事業

（1）「宅配牛乳獲得運動」として、酪農家や会員・孫会員の関係者が実施主体となり、平成18年7月1日から平成19年3月31日の期間、以下の実施方法により、家庭宅配・職場宅配等の獲得を目指すとしています。

①会員毎に乳業者選定と期間・重点地域を設定し、会員が企画立案し行動

②推進にあたって、選定乳業者以外の域内乳業者の契約家庭については継続を要請

③宅配期間の契約は最低3カ月以上

（2）その他の事業として、会員の実情により、上記以外の方法による牛乳消費拡大事業を企画し実施することができるとしています。

なお。会員が主体となって実施する牛乳消費拡大事業の経費負担については、上記（1）（2）総合の予算枠として、生産者乳価対策資金から総額2,500万円を充当することとしています。

中酪スケジュール

指定団体・中酪の月間スケジュール（10月）

		指定団体・関連団体等	中央酪農会議
10月1日	日		
2日	月	中国生乳販連　第4回生乳安全安心中国地域協議会 （岡山コンベンションセンター　407会議室　14：00～）	
3日	火	東北生乳販連　第3回東北地域生乳検査体制整備協議会 （東北生乳販連会議室　11：00～）	
4日	水	中国生乳販連　酪農生産基盤改善支援対策事業ブロック 推進会議　（ピュアリティまきび　13：30～）	指定団体会長、指定団体・全国連実務責任者会議 （虎ノ門パストラル　13：30）
5日	木		生乳の安全安心確保のマニュアル作成検討部会 （中央酪農会議　会議室　13：30～）
6日	金		
7日	土	九州生乳販連　第7回わくわくモーモースクール （佐賀県神埼市中央公民館　8：00～）	
8日	日		
9日	月		
10日	火	東海酪連　第3回生乳受託販売委員会 （アレックスビル1階会議室　11：30～）	基礎調査　（関東：栃木）（～12日）
11日	水		基礎調査　（東北：岩手）（～13日）
12日	木	九州生乳販連　第7回参事・担当部課長合同会議 （福岡県酪連会議室　11：00～）	乳質改善ブロック講習会　（東北・関東） （かんぽの宿郡山）（～13日）
13日	金	四国生乳販連　生乳受託販売委員会 （ホテルニューフロンテリア　11：30～） 東北生乳販連　第2回事業推進委員会 （東北生乳販連会議室　11：00～）	
14日	土		海外研修　（英国・アイルランド）（～25日）
15日	日		
16日	月	東海酪連　第41回理事会 （アレックスビル1階会議室　11：30～）	基礎調査　（北海道：根釧）（～18日）
17日	火	四国生乳販連　第3回理事会 （サンポートホール高松　13：30～）	乳質改善ブロック講習会　（北陸・東海） （アイリス愛知）（～18日）
18日	水		
19日	木		
20日	金		
21日	土		
22日	日		
23日	月		
24日	火		
25日	水	中国生乳販連　第7回理事会　（林業ビル　第3会議室）	乳質技術研修会　（岡山）（～27日）
26日	木	東北生乳販連　生乳受託販売委員会 （仙台ホテル　11：00～） 九州生乳販連　第10回理事会 （福岡県酪連会議室　未定）	
27日	金		
28日	土		
29日	日		
30日	月		基礎調査　（四国：愛媛）（～11月1日）
31日	火	中国生乳販連　第3回監査会（林業ビル中販連会議室）	乳質改善ブロック講習会　（九州） （メルパルク熊本）（～11月1日）

指定団体･中酪の月間スケジュール（11月）

		指定団体･関連団体等	中央酪農会議
11月1日	水		
2日	木		
3日	金	東海酪連　ふるさと農林水産フェア（～5日）	
4日	土		
5日	日		
6日	月		基礎調査　（近畿：奈良）（～8日）
7日	火		
8日	水		基礎調査　（東海：愛知）（～10日）
9日	木		
10日	金		
11日	土		
12日	日		
13日	月		
14日	火		
15日	水		基礎調査　（北陸：新潟）（～17日）
16日	木	九州生乳販連　第11回理事会 第３回九州生乳販連需給懇談会 （ホテルセントラーザ　博多）	
17日	金		
18日	土		
19日	日		
20日	月		乳質改善ブロック講習会　（近畿･中国･四国） （アークホテル岡山）（～21日） 基礎調査　（北海道：十勝）（～22日）
21日	火		
22日	水	四国生乳販連　第4回四国地域酪農生産者研修会 （ホテルニューフロンティア　11：00～）	
23日	木		
24日	金		
25日	土		
26日	日		
27日	月		
28日	火		
29日	水		基礎調査　（九州：熊本）（～12月1日）
30日	木	東海酪連　わくわくモーモースクール（那古野小）	

掲示板

平成18年度7月用途別販売実績

平成18年8月16日現在　　社団法人　中央酪農会議

1）総受託乳量

指定団体	7月	前年同月比	4-7月累計	前年同月比
	トン	%	トン	%
北　海　道	316,573	96.8	1,258,090	99.1
青　　森	6,521	93.6	26,906	97.7
岩　　手	19,747	95.7	79,399	97.2
宮　　城	12,412	95.8	51,216	98.3
秋　　田	3,011	100.2	12,408	103.8
山　　形	7,802	98.4	31,407	98.7
福　　島	9,237	97.5	37,747	99.3
東北生乳販連	58,730	96.3	239,083	98.3
茨　　城	15,236	98.1	63,687	100.3
栃　　木	27,118	99.4	111,832	102.0
群　　馬	21,678	97.7	89,882	99.9
埼　　玉	7,695	94.9	32,383	97.4
千　　葉	22,346	96.5	92,822	97.5
東　　京	1,182	98.7	4,931	99.1
神 奈 川	6,003	93.9	25,396	95.1
山　　梨	1,113	95.6	4,654	98.7
静　　岡	8,498	100.1	35,762	100.7
関東生乳販連	110,870	97.7	461,349	99.5
大島・八丈島	23	87.4	99	96.9
関 東 合 計	110,892	97.7	461,448	99.5
新　　潟	6,297	99.3	25,716	99.0
富　　山	1,565	100.3	6,521	102.7
石　　川	2,403	93.6	10,144	96.1
福　　井	875	97.3	3,637	97.6
北 陸 酪 連	11,140	98.0	46,018	98.7
長　　野	10,389	97.1	41,964	98.0
岐　　阜	4,934	97.8	19,952	97.8
愛　　知	20,787	104.4	86,989	104.1
三　　重	4,610	97.3	19,557	98.3
東 海 酪 連	40,721	100.8	168,462	101.1
滋　　賀	1,810	95.2	7,606	96.0
京　　都	2,446	100.1	10,050	99.7
大　　阪	1,331	101.3	5,462	99.8
兵　　庫	10,589	95.5	44,839	96.4
奈　　良	2,766	95.5	11,476	97.6
和 歌 山	241	202.8	1,002	209.7
近畿生乳販連	19,184	97.1	80,435	97.8
鳥　　取	5,246	96.1	22,031	100.1
島　　根	5,124	97.4	21,663	98.5
岡　　山	9,785	100.8	41,312	100.1
広　　島	5,349	104.4	21,428	101.7
山　　口	1,887	96.8	8,158	99.1
中国生乳販連	27,389	99.6	114,591	100.0
徳　　島	3,817	95.9	16,130	96.1
香　　川	3,235	96.9	13,726	97.2
愛　　媛	3,938	94.7	17,301	98.7
高　　知	2,124	100.6	9,444	103.7
四国生乳販連	13,114	96.5	56,601	98.4
福　　岡	8,854	91.3	38,078	92.6
佐　　賀	2,210	94.6	9,772	96.7
長　　崎	4,674	96.7	20,128	97.0
熊　　本	20,516	93.1	87,547	93.9
大　　分	8,082	93.1	33,650	92.3
宮　　崎	8,085	94.0	35,231	95.3
鹿 児 島	7,465	94.4	33,087	94.9
九州生乳販連	59,886	93.4	257,493	94.1
都　府　県	341,056	97.1	1,424,130	98.4
合　　計	657,629	96.9	2,682,220	98.7

2）販売乳量　（全乳哺育・緊急余乳を除く）

指定団体	7月	前年同月比	4-7月累計	前年同月比
	トン	%	トン	%
北　海　道	316,573	96.8	1,258,090	99.1
青　　森				
岩　　手				
宮　　城				
秋　　田				
山　　形				
福　　島				
東北生乳販連	58,724	96.3	239,056	98.3
茨　　城				
栃　　木				
群　　馬				
埼　　玉				
千　　葉				
東　　京				
神 奈 川				
山　　梨				
静　　岡				
関東生乳販連	110,870	97.7	461,349	99.5
大島・八丈島	23	87.4	99	96.9
関 東 合 計	110,892	97.7	461,448	99.5
新　　潟				
富　　山				
石　　川				
福　　井				
北 陸 酪 連	11,140	98.0	46,018	98.7
長　　野				
岐　　阜				
愛　　知				
三　　重				
東 海 酪 連	40,721	100.8	168,462	101.1
滋　　賀				
京　　都				
大　　阪				
兵　　庫				
奈　　良				
和 歌 山				
近畿生乳販連	19,184	97.1	80,435	97.8
鳥　　取				
島　　根				
岡　　山				
広　　島				
山　　口				
中国生乳販連	27,389	99.6	114,591	100.0
徳　　島				
香　　川				
愛　　媛				
高　　知				
四国生乳販連	13,114	96.5	56,601	98.4
福　　岡				
佐　　賀				
長　　崎				
熊　　本				
大　　分				
宮　　崎				
鹿 児 島				
九州生乳販連	59,886	93.4	257,493	94.1
都　府　県	341,050	97.1	1,424,103	98.4
合　　計	657,623	96.9	2,682,192	98.7

注）この速報は、キロ（kg）で報告いただた数量をトンに直して小数点以下を四捨五入した数値となっておりますので、合計値が一致していないことがあります。
予めご了承下さい。

3）飲用牛乳向

指定団体	7月	前年同月比	4-7月累計	前年同月比
	トン	%	トン	%
北　海　道	67,591	90.7	242,150	92.7
東北生乳販連	43,786	96.1	171,526	95.3
関東生乳販連	87,939	96.1	361,773	96.1
大島・八丈島	16	101.2	67	98.8
関　東　計	87,955	96.1	361,840	96.1
北陸酪連	10,761	96.7	44,057	96.7
東海酪連	34,388	98.5	136,943	96.4
近畿生乳販連	18,102	93.6	75,252	94.0
中国生乳販連	21,280	94.7	87,864	94.7
四国生乳販連	12,164	94.5	50,606	97.1
九州生乳販連	48,102	93.1	191,290	94.0
都　府　県	276,538	95.5	1,119,379	95.5
合　　計	344,128	94.5	1,361,528	95.0

4）はっ酵乳等向

指定団体	7月	前年同月比	4-7月累計	前年同月比
	トン	%	トン	%
北　海　道	7,979	105.9	29,556	106.3
東北生乳販連	4,909	91.5	19,240	92.9
関東生乳販連	14,091	119.6	54,550	116.0
大島・八丈島	0	—	0	—
関　東　計	14,091	119.6	54,550	116.0
北陸酪連	143	—	363	—
東海酪連	3,230	111.9	12,371	104.4
近畿生乳販連	1,063	339.0	4,730	386.7
中国生乳販連	4,602	128.2	17,472	121.8
四国生乳販連	293	410.4	532	188.4
九州生乳販連	5,900	103.7	22,744	106.6
都　府　県	34,230	115.2	132,003	113.0
合　　計	42,209	113.4	161,559	111.8

5）特定乳製品向け

指定団体	7月	前年同月比	4-7月累計	前年同月比
	トン	%	トン	%
北　海　道	142,017	95.7	597,347	97.7
東北生乳販連	7,090	100.9	36,953	117.3
関東生乳販連	7,153	79.8	38,385	111.6
大島・八丈島	6	65.0	32	93.0
関　東　計	7,160	79.8	38,417	111.6
北陸酪連	192	79.4	1,387	131.2
東海酪連	2,465	125.9	16,285	157.1
近畿生乳販連	19	18.3	452	50.3
中国生乳販連	659	74.1	4,943	101.1
四国生乳販連	342	146.8	4,390	126.2
九州生乳販連	3,283	76.8	32,984	84.7
都　府　県	21,210	89.5	135,810	108.2
合　　計	163,226	94.8	733,158	99.4

6）生クリーム等向け

指定団体	7月	前年同月比	4-7月累計	前年同月比
	トン	%	トン	%
北　海　道	70,593	102.2	275,124	104.7
東北生乳販連	2,528	98.2	9,630	103.8
関東生乳販連	1,640	129.1	6,454	117.2
大島・八丈島	0	—	0	—
関　東　計	1,640	129.1	6,454	117.2
北陸酪連	43	—	204	—
東海酪連	519	103.4	2,322	119.4
近畿生乳販連	0	—	0	—
中国生乳販連	830	153.3	4,239	172.3
四国生乳販連	303	76.6	1,038	63.3
九州生乳販連	2,512	105.9	10,114	108.1
都　府　県	8,374	109.4	34,001	112.7
合　　計	78,967	102.9	309,126	105.6

7）チーズ向け

指定団体	7月	前年同月比	4-7月累計	前年同月比
	トン	%	トン	%
北　海　道	28,393	103.0	113,913	107.6
東北生乳販連	412	90.6	1,707	100.3
関東生乳販連	46	107.2	187	115.0
大島・八丈島	0	—	0	—
関　東　計	46	107.2	187	115.0
北陸酪連	2	92.6	7	124.2
東海酪連	119	99.3	541	106.5
近畿生乳販連	0	—	0	—
中国生乳販連	18	121.7	73	110.2
四国生乳販連	12	158.3	35	113.9
九州生乳販連	89	104.2	360	120.7
都　府　県	698	96.0	2,910	104.9
合　　計	29,091	102.9	116,822	107.5

8）全乳哺育向け

指定団体	7月	前年同月比	4-7月累計	前年同月比
	トン	%	トン	%
北　海　道	0	—	0	—
東北生乳販連	6	88.8	27	97.1
関東生乳販連	0	—	0	—
大島・八丈島	0	—	0	—
関　東　計	0	—	0	—
北陸酪連	0	—	0	—
東海酪連	0	—	0	—
近畿生乳販連	0	—	0	—
中国生乳販連	0	—	0	—
四国生乳販連	0	—	0	—
九州生乳販連	0	—	0	—
都　府　県	6	88.8	27	97.1
合　　計	6	88.8	27	97.1

注）この速報は、キロ（kg）で報告いただた数量をトンに直して小数点以下を四捨五入した数値となっておりますので、合計値が一致していないことがあります。
予めご了承下さい。

平成18年度8月用途別販売実績

速報 News flash

平成18年9月15日現在　　社団法人　中央酪農会議

1）総受託乳量

指定団体	8月	前年同月比	4-8月累計	前年同期比
	トン	%	トン	%
北海道	310,901	95.9	1,568,991	98.5
青森	6,433	95.5	33,339	97.3
岩手	19,391	96.8	98,791	97.1
宮城	12,084	96.2	63,299	97.9
秋田	2,825	98.2	15,233	102.7
山形	7,644	101.1	39,051	99.2
福島	8,987	97.7	46,734	99.0
東北生乳販連	57,365	97.3	296,448	98.1
茨城	14,660	98.9	78,346	100.0
栃木	26,377	99.6	138,209	101.5
群馬	20,741	98.0	110,623	99.5
埼玉	7,422	96.3	39,806	97.2
千葉	21,716	96.1	114,538	97.2
東京	1,133	101.0	6,064	99.5
神奈川	5,681	96.4	31,076	95.3
山梨	1,041	91.2	5,695	97.2
静岡	8,354	103.6	44,116	101.2
関東生乳販連	107,125	98.3	568,474	99.3
大島・八丈島	21	83.3	120	94.2
関東合計	107,146	98.3	568,594	99.3
新潟	6,038	100.3	31,754	99.3
富山	1,476	97.8	7,996	101.8
石川	2,209	91.6	12,353	95.3
福井	805	96.4	4,442	97.4
北陸酪連	10,528	97.7	56,545	98.5
長野	10,203	97.0	52,167	97.8
岐阜	4,689	97.7	24,641	97.8
愛知	20,113	105.8	107,102	104.4
三重	4,471	100.0	24,028	98.6
東海酪連	39,477	101.8	207,938	101.2
滋賀	1,726	92.6	9,332	95.4
京都	2,348	99.5	12,399	99.7
大阪	1,244	98.9	6,706	99.6
兵庫	10,156	94.8	54,995	96.1
奈良	2,635	94.7	14,110	97.1
和歌山	213	195.1	1,215	207.0
近畿生乳販連	18,322	96.0	98,757	97.5
鳥取	5,029	93.6	27,060	98.8
島根	4,901	95.5	26,563	97.9
岡山	9,288	98.4	50,599	99.8
広島	5,190	102.0	26,618	101.7
山口	1,746	94.1	9,903	98.2
中国生乳販連	26,153	97.3	140,744	99.5
徳島	3,619	94.0	19,749	95.7
香川	3,112	95.1	16,837	96.8
愛媛	3,685	90.6	20,986	97.2
高知	2,013	95.4	11,457	102.2
四国生乳販連	12,429	93.4	69,030	97.4
福岡	8,559	90.9	46,637	92.3
佐賀	2,099	93.5	11,871	96.1
長崎	4,497	97.6	24,624	97.1
熊本	19,913	91.4	107,460	93.5
大分	7,779	91.5	41,428	92.1
宮崎	7,790	92.2	43,021	94.7
鹿児島	7,194	92.5	40,280	94.5
九州生乳販連	57,830	92.1	315,322	93.8
都府県	329,249	97.0	1,753,380	98.1
合計	640,150	96.4	3,322,370	98.3

2）販売乳量　（全乳哺育・緊急余乳を除く）

指定団体	8月	前年同月比	4-8月累計	前年同期比
	トン	%	トン	%
北海道	310,901	95.9	1,568,991	98.5
青森				
岩手				
宮城				
秋田				
山形				
福島				
東北生乳販連	57,359	97.3	296,415	98.1
茨城				
栃木				
群馬				
埼玉				
千葉				
東京				
神奈川				
山梨				
静岡				
関東生乳販連	107,125	98.3	568,474	99.3
大島・八丈島	21	83.3	120	94.2
関東合計	107,146	98.3	568,594	99.3
新潟				
富山				
石川				
福井				
北陸酪連	10,528	97.7	56,545	98.5
長野				
岐阜				
愛知				
三重				
東海酪連	39,477	101.8	207,938	101.2
滋賀				
京都				
大阪				
兵庫				
奈良				
和歌山				
近畿生乳販連	18,322	96.0	98,757	97.5
鳥取				
島根				
岡山				
広島				
山口				
中国生乳販連	26,153	97.3	140,744	99.5
徳島				
香川				
愛媛				
高知				
四国生乳販連	12,429	93.4	69,030	97.4
福岡				
佐賀				
長崎				
熊本				
大分				
宮崎				
鹿児島				
九州生乳販連	57,830	92.1	315,322	93.8
都府県	329,244	97.0	1,753,346	98.1
合計	640,145	96.4	3,322,337	98.3

注）この速報は、キロ（kg）で報告いただた数量をトンに直して小数点以下を四捨五入した数値となっておりますので、合計値が一致していないことがあります。
予めご了承下さい。

3）飲用牛乳向

指定団体	8月	前年同月比	4-8月累計	前年同期比
	トン	%	トン	%
北　海　道	68,418	99.6	310,567	94.1
東北生乳販連	42,427	97.5	213,953	95.8
関東生乳販連	84,033	95.7	445,806	96.0
大島・八丈島	17	100.7	84	99.2
関　東　計	84,050	95.7	445,890	96.0
北陸酪連	10,045	95.5	54,102	96.5
東海酪連	32,468	96.7	169,411	96.5
近畿生乳販連	17,298	92.8	92,550	93.7
中国生乳販連	20,158	92.7	108,023	94.3
四国生乳販連	11,250	90.7	61,856	95.9
九州生乳販連	45,403	95.8	236,693	94.3
都　府　県	263,098	95.5	1,382,477	95.5
合　　計	331,515	96.3	1,693,044	95.2

4）はっ酵乳等向

指定団体	8月	前年同月比	4-8月累計	前年同期比
	トン	%	トン	%
北　海　道	8,437	109.9	37,993	107.1
東北生乳販連	5,204	101.0	24,444	94.5
関東生乳販連	14,301	117.2	68,851	116.3
大島・八丈島	0	—	0	—
関　東　計	14,301	117.2	68,851	116.3
北陸酪連	147	—	510	—
東海酪連	3,076	106.1	15,447	104.8
近畿生乳販連	1,024	290.7	5,755	365.2
中国生乳販連	4,698	129.6	22,170	123.4
四国生乳販連	346	506.3	878	250.4
九州生乳販連	6,098	107.5	28,843	106.8
都　府　県	34,895	116.4	166,898	113.7
合　　計	43,332	115.1	204,891	112.4

5）特定乳製品向け

指定団体	8月	前年同月比	4-8月累計	前年同期比
	トン	%	トン	%
北　海　道	135,717	87.7	733,064	95.6
東北生乳販連	7,028	93.6	43,981	112.7
関東生乳販連	7,242	93.9	45,627	108.3
大島・八丈島	4	45.9	36	84.2
関　東　計	7,246	93.8	45,663	108.3
北陸酪連	289	113.7	1,676	127.8
東海酪連	3,139	182.1	19,423	160.7
近畿生乳販連	0	—	452	45.9
中国生乳販連	573	69.1	5,515	96.5
四国生乳販連	472	117.2	4,862	125.3
九州生乳販連	3,709	50.6	36,692	79.3
都　府　県	22,455	86.8	158,265	104.5
合　　計	158,172	87.6	891,329	97.1

6）生クリーム等向け

指定団体	8月	前年同月比	4-8月累計	前年同期比
	トン	%	トン	%
北　海　道	70,390	107.0	345,514	105.2
東北生乳販連	2,281	99.7	11,911	103.0
関東生乳販連	1,498	119.8	7,952	117.7
大島・八丈島	0	—	0	—
関　東　計	1,498	119.8	7,952	117.7
北陸酪連	45	—	249	—
東海酪連	659	142.2	2,981	123.8
近畿生乳販連	0	—	0	—
中国生乳販連	705	106.2	4,944	158.3
四国生乳販連	353	85.0	1,392	67.7
九州生乳販連	2,530	111.2	12,645	108.7
都　府　県	8,072	109.7	42,073	112.1
合　　計	78,462	107.3	387,587	105.9

7）チーズ向け

指定団体	8月	前年同月比	4-8月累計	前年同期比
	トン	%	トン	%
北　海　道	27,940	102.7	141,852	106.6
東北生乳販連	419	89.5	2,126	98.0
関東生乳販連	51	114.5	238	114.9
大島・八丈島	0	—	0	—
関　東　計	51	114.5	238	114.9
北陸酪連	2	114.9	9	122.0
東海酪連	135	106.0	676	106.4
近畿生乳販連	0	—	0	—
中国生乳販連	19	128.6	92	113.6
四国生乳販連	8	95.5	43	110.0
九州生乳販連	90	77.7	450	108.7
都　府　県	724	92.8	3,634	102.2
合　　計	28,664	102.4	145,486	106.5

8）全乳哺育向け

指定団体	8月	前年同月比	4-8月累計	前年同期比
	トン	%	トン	%
北　海　道	0	—	0	—
東北生乳販連	6	82.6	33	94.2
関東生乳販連	0	—	0	—
大島・八丈島	0	—	0	—
関　東　計	0	—	0	—
北陸酪連	0	—	0	—
東海酪連	0	—	0	—
近畿生乳販連	0	—	0	—
中国生乳販連	0	—	0	—
四国生乳販連	0	—	0	—
九州生乳販連	0	—	0	—
都　府　県	6	82.6	33	94.2
合　　計	6	82.6	33	94.2

注）この速報は、キロ（kg）で報告いただた数量をトンに直して小数点以下を四捨五入した数値となっておりますので、合計値が一致していないことがあります。
予めご了承下さい。

酪農情勢メモ

1. 各指定団体への供給目標数量等の配分状況

平成18年度計画生産における指定団体別販売基準数量及び特別枠の配分

指定団体	販売基準数量 配分数量	新規就農枠 配分数量 （7月6日配分済）	アウトイン修正 （8月21日時点）	修正済み 販売基準数量 （8月4日時点）
	R2	R3	R4	R0=R2+R3+R4
北海道	3,197,845,000	2,620,809		3,200,465,809
東北	676,951,000	1,326,356	1,300,798	679,578,154
関東	1,298,113,000	616,457		1,298,729,457
北陸	131,174,000	221,506		131,395,506
東海	465,814,000	52,242	1,757,131	467,623,373
近畿	230,646,000	790,597		231,436,597
中国	322,225,000	1,377,970		323,602,970
四国	161,230,000	1,350,000		162,580,000
九州	741,617,000	1,644,062		743,261,062
都府県	4,027,770,000	7,379,190	3,057,929	4,038,207,119
全国	7,225,615,000	9,999,999	3,057,929	7,238,672,928

	特別枠A 配分数量	特別枠A' 配分数量	特別枠B 配分数量 (※)	特別枠A、A'、B 配分後の 供給目標数量	17年度 計画生産実績比 (繰越数量含む)
	S1	S2	S3	R5=R4+S1+S2+S3	T=R3 /昨年度実績
	132,577,000	46,000,000	41,340,000	3,420,382,809	99.4%
	6,849,000	0	1,000,000	687,427,154	97.3%
	10,218,000	0	7,000,000	1,315,947,457	98.1%
	0	0	0	131,395,506	97.9%
	3,000,000	0	6,150,000	476,773,373	99.2%
	0	0	0	231,436,597	98.2%
	4,562,000	0	250,000	328,414,970	98.7%
	0	0	0	162,580,000	97.1%
	0	0	0	743,261,062	96.0%
	24,629,000	0	14,400,000	4,077,236,119	97.7%
	157,206,000	46,000,000	55,740,000	7,497,618,928	98.5%

2. 用途別販売実績の過去の推移

(1) 実績数量

	総受託乳量	販売乳量計			
			飲用牛乳向	はっ酵乳等向	特定乳製品向
	①=②+⑨	②=⑦+⑧	③	④	⑤
13年度	7,890.3	7,890.2	4,346.0	329.6	2,088.9
14年度	7,989.7	7,989.6	4,473.4	379.7	2,046.8
15年度	8,041.5	8,041.5	4,428.2	385.4	2,114.3
16年度	7,931.0	7,930.9	4,285.3	406.2	2,094.3
17年度	7,946.1	7,946.1	4,120.4	422.5	2,180.4
17.4	671.1	671.1	340.6	35.2	198.7
5	696.0	696.0	361.5	36.7	196.7
6	671.7	671.7	367.9	35.3	169.8
7	678.4	678.4	364.0	37.2	172.1
8	663.8	663.8	344.3	37.6	180.7
9	643.1	643.1	372.5	35.0	133.5
10	660.1	660.1	364.1	35.5	155.2
11	636.6	636.6	335.9	33.6	162.4
12	661.5	661.5	319.3	32.9	199.7
1	670.8	670.8	323.7	33.8	215.7
2	614.6	614.6	307.1	32.2	181.5
3	678.4	678.4	319.8	37.3	214.5
18.4	668.6	668.6	325.0	38.2	201.1
5	693.7	693.7	342.6	40.8	202.1
6	662.3	662.3	349.7	40.4	166.7
7	657.6	657.6	344.1	42.2	163.2
8	640.2	640.1	331.5	43.3	158.2

(2) 前年同月比

	総受託乳量	販売乳量計			
			飲用牛乳向	はっ酵乳等向	特定乳製品向
	①=②+⑨	②=⑦+⑧	③	④	⑤
13年度	99.4	99.4	97.5	123.1	98.4
14年度	101.3	101.3	102.9	115.2	98.0
15年度	100.6	100.6	99.0	101.5	103.3
16年度	98.6	98.6	96.8	105.4	99.1
17年度	100.2	100.2	96.2	104.0	104.1
17.4	99.4	99.4	96.2	102.9	102.3
5	97.9	98.6	97.0	103.9	94.8
6	97.9	97.9	96.0	102.5	97.3
7	99.7	99.7	93.6	104.7	108.1
8	100.0	100.0	95.9	104.9	103.6
9	101.1	101.1	97.3	103.8	105.4
10	101.9	101.9	98.9	102.0	106.1
11	102.4	102.4	96.2	103.1	114.3
12	101.6	101.6	95.6	103.1	108.8
1	101.3	101.3	96.4	103.9	106.9
2	100.7	100.7	95.6	106.5	106.6
3	99.2	99.2	94.9	106.5	100.3
18.4	99.6	99.6	95.4	108.5	101.2
5	99.7	99.7	94.8	111.2	102.8
6	98.6	98.6	95.1	114.4	98.2
7	96.9	96.9	94.5	113.3	94.8
8	96.4	96.4	96.3	115.1	87.6

単位：千t

生クリーム等向 ⑥	計画生産枠内 ⑦=③+④+⑤+⑥	チーズ向け ⑧	全乳哺育向け ⑨
821.1	7,585.6	304.6	0.1
806.2	7,706.2	283.4	0.1
807.9	7,735.8	305.7	0.1
835.6	7,621.4	309.5	0.1
892.3	7,615.8	330.3	0.1
70.6	645.1	26.1	0.0
74.2	669.1	26.9	0.0
71.3	644.3	27.4	0.0
76.8	650.1	28.3	0.0
73.1	635.8	28.0	0.0
75.3	616.3	26.8	0.0
75.7	630.5	29.7	0.0
76.4	608.2	28.4	0.0
83.0	634.9	26.5	0.0
70.0	643.2	27.7	0.0
67.5	588.4	26.3	0.0
78.5	650.0	28.3	0.0
75.7	640.0	28.6	0.0
78.7	664.2	29.5	0.0
75.8	632.6	29.7	0.0
79.0	628.5	29.1	0.0
78.5	611.5	28.7	0.0

単位：%

生クリーム等向 ⑥	計画生産枠内 ⑦=③+④+⑤+⑥	チーズ向け ⑧	全乳哺育向け ⑨
102.8	99.2	104.1	83.6
98.2	101.6	93.1	78.7
100.2	100.4	107.8	83.3
103.4	98.5	101.3	105.0
106.8	99.9	106.7	100.0
104.0	99.2	106.1	100.0
107.0	97.7	101.2	100.0
105.4	97.7	103.1	100.0
110.0	99.5	104.2	100.0
108.0	99.8	102.9	100.0
111.5	100.9	104.0	100.0
105.6	101.6	109.6	100.0
106.9	102.2	107.7	100.0
106.0	101.2	112.9	100.0
105.2	101.0	107.8	100.0
104.6	100.3	110.8	100.0
107.4	98.7	111.6	100.0
107.1	99.2	109.8	98.6
106.0	99.3	109.4	101.9
106.3	98.2	108.3	98.6
102.9	96.7	102.9	90.4
107.3	96.2	102.4	82.6

3. 計画生産の取り組み状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
北海道	18年度実績	278,245	292,640	285,113	288,179	282,961		
	前年同月比	(99.6%)	(99.7%)	(98.0%)	(96.2%)	(95.3%)		
東北	18年度実績	59,376	61,514	58,146	58,312	56.940		
	前年同月比	(98.7%)	(99.3%)	(98.9%)	(96.4%)	(97.4%)		
関東	18年度実績	117,350	120,769	112,296	110,846	107,095		
	前年同月比	(100.7%)	(100.6%)	(99.1%)	(97.7%)	(98.3%)		
北陸	18年度実績	11,575	12,025	11,273	11,139	10,526		
	前年同月比	(98.4%)	(99.6%)	(98.9%)	(98.0%)	(97.7%)		
東海	18年度実績	42,292	43,686	41,340	40,602	39,342		
	前年同月比	(100.8%)	(101.1%)	(101.5%)	(100.8%)	(101.8%)		
近畿	18年度実績	20,519	21,049	19,683	19,184	18,322		
	前年同月比	(97.9%)	(98.2%)	(98.2%)	(97.1%)	(96.0%)		
中国	18年度実績	29,274	29,889	27,984	27,371	26,134		
	前年同月比	(100.5%)	(100.0%)	(99.9%)	(99.6%)	(97.3%)		
四国	18年度実績	14,694	14,910	13,861	13,101	12,421		
	前年同月比	(99.3%)	(99.0%)	(98.6%)	(96.5%)	(93.4%)		
九州	18年度実績	66,628	67,763	62,946	59,796	57,740		
	前年同月比	(94.7%)	(94.3%)	(94.0%)	(93.4%)	(92.2%)		
都府県	18年度実績	361,708	371,605	347,529	340,352	328,520		
	前年同月比	(98.9%)	(98.9%)	(98.4%)	(97.1%)	(97.0%)		
合計	18年度実績	639,952	664,245	632,641	628,531	611,481		
	前年同月比	(99.2%)	(99.3%)	(98.2%)	(96.7%)	(96.2%)		

注1：計画生産内計画数量は、指定団体が作成した計画数量から本会議で推計した全乳哺育、チーズ向け数量を控除して試算した。
注2：計画生産内受託販売乳量は、受託販売乳量から全乳哺育、チーズ向け数量を控除した数量

	11月	12月	1月	2月	3月	合計
						1,427,138
						294,289
						568,356
						56,537
						207,263
						98,757
						140,652
						68,987
						314,872
						1,749,713
						3,176,851

4. 牛乳需要の動向

(1) 飲用牛乳向け需要の動向

単位：千t、％

	牛乳等向け生乳供給量		生産量					
			牛乳		加工乳･成分調整牛乳･乳飲料		はっ酵乳	
		前年比		前年比		前年比		前年比
13年度	4,903	98.0	3,840	97.9	1,788	97.2	698	102.0
14年度	5,046	102.9	3,977	103.6	1,627	91.0	799	114.4
15年度(従来区分)	4,957	98.2	3,925	98.7	1,598	98.2	793	99.3
15年度(新区分)	5,018	99.4	4,021	101.1	1,633	100.4	793	99.3
16年度	4,902	97.7	3,926	97.7	1,662	101.8	784	98.8
17年度	4,738	96.6	3,794	96.6	1,675	100.7	802	102.4
17.4	391	95.9	312	96.2	136	99.2	74	108.9
5	416	97.5	331	97.1	143	100.4	70	103.9
6	419	96.1	339	96.3	147	100.3	72	106.0
7	416	94.1	327	93.5	154	96.7	70	101.4
8	395	96.6	312	97.8	156	101.9	67	104.0
9	424	97.5	340	96.6	156	100.8	67	104.6
10	416	98.8	333	98.6	150	105.8	66	100.1
11	386	96.7	313	96.4	133	99.4	61	98.7
12	371	96.5	302	96.7	128	100.8	59	98.9
1	373	97.0	299	97.0	126	101.7	63	104.5
2	356	96.7	286	96.4	116	101.3	63	101.6
3	375	96.4	299	97.0	131	101.2	70	96.6
18.4	380	97.3	302	96.9	131	96.8	71	95.6
5	399	96.0	319	96.4	142	99.6	77	109.2
6	405	96.5	323	95.3	144	97.6	75	104.1
7	405	97.2	318	97.2	155	100.6	74	105.6

資料：農林水産省牛乳統計

(2) 飲用牛乳向け需要の動向

① 脱脂粉乳

単位：千t

	生産量		輸入 売渡し	消費量					過不足	在庫量	
						うち、通常消費量		うち、在庫 対策実施量		民間在庫量	
		前年比			前年比		前年比				前年比
13年度	177.9	96.3%	13.8	170.0	90.1%	170.0	90.1%	0.0	21.6	75.0	140.6%
14年度	178.9	100.6%	0.0	173.1	101.8%	173.1	101.8%	0.0	5.8	80.8	107.7%
15年度	184.4	103.1%	0.0	172.0	99.3%	172.0	99.3%	0.0	12.4	93.2	115.4%
16年度	182.7	99.1%	0.0	187.9	109.3%	165.6	96.3%	22.3	-5.2	88.0	94.4%
17年度	189.7	103.9%	0.0	202.4	107.8%	170.3	102.9%	32.1	-12.7	75.3	85.6%
17.4	17.1	102.5%	0.0	16.4	105.5%	14.3	0.0%	2.1	0.6	88.6	94.0%
5	16.4	92.6%	0.0	15.7	108.5%	13.3	0.0%	2.4	0.7	89.4	91.6%
6	14.2	94.2%	0.0	17.1	113.6%	14.3	0.0%	2.8	-2.9	86.5	88.6%
7	14.5	106.5%	0.0	17.6	97.1%	15.4	0.0%	2.2	-3.2	83.3	89.6%
8	15.4	105.6%	0.0	17.1	101.7%	14.5	0.0%	2.6	-1.7	81.6	89.9%
9	11.8	103.9%	0.0	16.2	89.0%	13.5	0.0%	2.7	-4.3	77.3	92.0%
10	13.7	104.8%	0.0	16.1	116.6%	13.9	0.0%	2.2	-2.4	75.0	89.9%
11	14.7	111.7%	0.0	15.1	102.4%	13.2	0.0%	1.9	-0.3	74.6	91.2%
12	19.0	109.0%	0.0	16.3	100.4%	14.2	0.0%	2.1	2.7	77.3	93.1%
1	18.5	108.7%	0.0	14.4	105.4%	12.8	0.0%	1.6	4.1	81.4	94.2%
2	15.8	106.6%	0.0	15.5	112.1%	12.9	0.0%	2.7	0.3	81.6	93.5%
3	18.6	102.9%	0.0	25.0	143.2%	18.1	0.0%	6.9	-6.4	75.3	85.6%
18.4	17.0	99.8%	0.0	15.9	96.9%	13.9	96.8%	2.0	1.1	76.4	86.2%
5	16.7	101.7%	0.4	14.4	91.9%	12.1	91.3%	2.2	2.3	78.7	88.1%
6	14.7	103.5%	0.6	14.7	86.0%	12.6	87.6%	2.2	-0.0	78.7	91.0%
7	13.5	93.7%	0.0	15.4	87.6%	13.1	85.4%	2.3	-1.9	76.8	92.2%

② バター需要の動向

単位：千t

	生産量		輸入 売渡し	消費量					過不足	在庫量	
						うち、通常消費量		うち、在庫対策実施量		民間在庫量	
		前年比			前年比		前年比				前年比
13年度	83.2	104.1%	0.0	90.8	109.4%	90.8	109.4%	0.0	-7.6	27.5	78.4%
14年度	79.6	95.7%	6.3	86.7	95.5%	86.7	95.5%	0.0	-0.8	23.7	86.2%
15年度	81.6	102.5%	10.5	89.0	102.7%	89.0	102.7%	0.0	3.0	26.8	112.8%
16年度	80.6	98.8%	7.8	89.3	100.3%	89.3	100.3%	0.0	-1.0	25.8	96.4%
17年度	85.5	106.1%	4.4	84.6	94.8%	84.6	94.8%	0.0	5.3	31.0	120.2%
17.4	8.2	107.1%	0.0	6.6	81.3%	6.6	81.3%	0.0	1.5	27.3	104.0%
5	7.7	94.5%	0.0	5.7	82.3%	5.7	82.3%	0.0	2.0	29.3	106.6%
6	6.8	98.7%	0.0	6.3	97.8%	6.3	97.8%	0.0	0.4	29.7	106.8%
7	6.4	107.5%	0.2	6.6	91.3%	6.6	91.3%	0.0	-0.1	29.6	101.9%
8	7.2	110.5%	0.4	6.6	93.0%	6.6	93.0%	0.0	0.9	30.5	105.6%
9	5.0	105.9%	2.3	6.7	95.9%	6.7	95.9%	0.0	0.6	31.1	116.7%
10	5.9	106.8%	0.0	7.1	97.2%	7.1	97.2%	0.0	-1.2	29.9	120.2%
11	6.1	113.8%	0.9	8.1	104.4%	8.1	104.4%	0.0	-1.2	28.7	128.1%
12	7.6	115.0%	0.0	9.9	103.8%	9.9	103.8%	0.0	-2.2	26.5	118.8%
1	8.8	110.9%	0.0	5.5	102.4%	5.5	102.4%	0.0	3.2	29.7	119.9%
2	7.5	109.1%	0.1	6.8	89.5%	6.8	89.5%	0.0	0.8	30.5	118.6%
3	8.5	99.0%	0.7	8.6	98.0%	8.6	98.0%	0.0	0.5	31.0	120.2%
18.4	8.0	97.8%	0	7.5	113.2%	7.5	113.2%	0.0	0.5	31.5	115.5%
5	8.1	104.4%	0	7.1	124.1%	7.1	124.1%	0.0	1.2	32.7	111.5%
6	6.7	99.4%	0	7.0	110.8%	7.0	110.8%	0.0	-0.3	32.4	108.9%
7	6.0	95.1%	0	6.6	100.5%	6.6	100.5%	0.0	-0.6	31.8	107.3%

注：うち在庫対策実施量は、計画生産上実施する特別枠に係る消費量

③ その他乳製品の動向

単位：千t

	クリーム生産量		チーズ生産量	
		前年比		前年比
13年度	78.6	99.6%	116.4	103.6%
14年度	85.1	108.3%	118.8	102.1%
15年度	90.0	105.7%	119.3	100.5%
15年度	87.8	97.5%	118.8	99.5%
16年度	82.9	94.4%	119.6	100.7%
17年度	83.3	100.5%	122.5	102.5%
17.4	6.6	95.7%	11.2	98.6%
5	6.7	97.5%	9.8	106.7%
6	6.3	96.3%	10.3	102.4%
7	6.7	102.4%	9.7	101.4%
8	6.4	99.7%	9.4	103.6%
9	6.7	101.1%	10.3	107.9%
10	7.0	96.5%	10.9	106.5%
11	7.5	100.1%	11.3	105.9%
12	8.9	97.7%	10.7	99.0%
1	6.7	104.4%	9.6	104.4%
2	6.4	102.0%	9.3	105.9%
3	7.5	106.7%	10.6	96.8%
18.4	6.8	103.0%	11.2	99.6%
5	7.0	103.7%	9.6	97.9%
6	6.7	106.9%	10.0	97.9%
7	6.7	100.2%	10.2	104.8%

牛乳乳製品統計

～農林水産省・牛乳乳製品統計　平成18年6月分・7月分より～

●6～7月は減産傾向が続いた（表1）

農林水産省・牛乳乳製品統計によると、4月の生乳生産量は全国で68万9892t（前年同月比98.5%）と前年を1.5ポイント下回り、減産傾向になった。このうち、北海道は32万3679t（98.8%）と今年度初めて前年比減となったが、その下げ幅は大きかった。都府県は36万6213t（98.2%）と引き続き2ポイント近い減となった。一方、用途別処理量は、牛乳等向けで全国40万4508t（96.5%）と前年を3.5ポイント下回り、なお減少傾向にあった。

また7月の生乳生産量は全国で68万7062t（97.1%）とさらに大きく減少した。このなかで北海道は32万7218t（97.0%）と6月を上回る減産となり、都府県においても35万9844t（97.2%）と3ポイント近くの減産となった。牛乳等向け処理量は、全国で40万4661t（97.2%）と引き続き大きく減少している。北海道は4万8064t（101.5%）と前年を上回る結果となった。なお、北海道の飲用牛乳等生産量は前年同月比103.5%、乳飲料生産量は同89.3%だった。ホクレンが取り組むミルクランド北海道などの消費拡大事業の浸透により、飲用需要が引き上げられたことが考えられる。

《参考》

（表2＝全国・北海道・都府県の生乳生産の推移）
（図2＝全国の生乳生産の推移）
（図3＝北海道の生乳生産の推移）
（図4＝都府県の生乳生産の推移）

1　生乳生産量と用途別処理量（平成18年6・7月分）　　単位：t

年次別	実数				
	生乳生産量	用途別処理量			
		牛乳等向け	うち業務用	乳製品向け	その他
平. 15年	8,400,073	4,974,103	…	3,339,775	86,195
16	8,328,951	4,954,710	296,843	3,292,397	81,844
17	8,285,215	4,775,335	303,396	3,429,456	80,424
平. 15年度	8,404,999	5,017,971	287,402	3,301,744	85,284
16	8,284,746	4,902,004	302,217	3,301,434	81,308
17	8,291,534	4,737,729	304,679	3,472,058	81,747
平. 17. 6	700,622	419,362	20,941	274,733	6,527
7	707,643	416,309	22,232	284,190	7,144
8	691,797	395,475	25,234	289,220	7,102
9	670,918	423,683	28,125	240,926	6,309
10	688,053	416,267	27,350	265,085	6,701
11	664,477	386,101	28,524	272,075	6,301
12	690,475	370,503	29,448	313,140	6,832
平. 18. 1	699,569	373,161	25,751	319,545	6,863
2	642,049	355,647	22,665	280,046	6,356
3	708,880	374,577	28,669	326,626	7,677
4	698,200	380,108	26,100	311,376	6,716
5	722,960	399,465	22,885	316,586	6,909
6	689,892	404,508	22,145	278,816	6,568
7	687,062	404,661	23,655	275,600	6,801
平. 18. 1月から平. 18. 7月までの累計	4,848,612	2,692,127	171,870	2,108,595	47,890
平. 18. 4月から平. 18. 7月までの累計	2,798,114	1,588,742	94,785	1,182,378	26,994

注：1　平成15年4月調査より、「牛乳等向け　うち、業務用向け」の調査項目を追加した。また、「牛乳等向け」及び「乳製品向け」の調査定義についても変更している。
注：2　平成17年度の合計値は概数値である。（以下、各表同じ。）

2　牛乳等生産量 (平成 18 年４・５月分)

単位：kℓ

年次別	実数								
	飲用牛乳等						乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料
	計	牛乳	うち業務用	加工乳・成分調整牛乳	うち業務用	うち成分調整牛乳			
平. 15年	4,362,144	3,946,191	…	415,953	…	…	1,163,588	792,216	183,901
16	4,454,157	3,971,177	283,978	482,980	16,118	191,185	1,189,388	777,548	174,060
17	4,289,629	3,822,690	288,485	466,939	17,780	204,028	1,203,215	799,936	173,629
平. 15年度	4,478,913	4,020,871	275,718	458,042	17,083	164,809	1,174,909	793,335	180,076
16	4,404,370	3,926,680	288,011	477,690	16,420	192,855	1,185,274	782,036	172,662
17	4,261,231	3,793,862	290,058	467,369	18,094	207,604	1,207,946	801,630	172,278
平. 17. 6	379,804	339,001	19,917	40,803	1,385	17,964	106,480	72,342	18,078
7	369,840	327,358	20,814	42,482	1,477	18,953	111,859	70,035	16,791
8	356,461	312,442	24,004	44,019	1,583	19,746	112,001	66,867	15,415
9	383,173	340,186	26,753	42,987	1,535	18,972	112,993	67,192	14,659
10	373,780	333,017	26,041	40,763	1,462	18,229	109,282	66,029	14,393
11	349,695	312,900	27,351	36,795	1,529	16,380	95,728	60,743	13,898
12	337,447	301,507	28,319	35,940	1,742	16,150	91,809	59,131	12,363
平. 18. 1	334,475	298,671	24,488	35,804	1,291	16,645	89,757	62,938	11,597
2	319,186	286,404	21,553	32,782	1,323	14,725	83,682	62,650	10,318
3	335,854	299,147	27,499	36,707	1,912	16,180	94,373	69,615	12,573
4	336,938	302,315	24,909	34,623	1,473	15,450	96,739	70,577	16,442
5	356,264	319,193	21,770	37,071	1,695	16,115	104,947	76,740	15,012
6	360,233	323,151	21,089	37,082	1,526	16,743	106,596	75,300	16,306
7	357,662	318,280	22,338	39,382	1,712	17,398	115,927	73,929	16,478
平. 18. 1月から平. 18. 7月までの累計	2,400,612	2,147,161	163,646	253,451	10,932	113,256	692,021	491,749	98,726
平. 18. 4月から平. 18. 7月までの累計	1,411,097	1,262,939	90,106	148,158	6,406	65,706	424,209	296,546	64,238

注：　平成 15 年４月調査より、「牛乳うち、業務用」、「加工乳・成分調整牛乳うち、業務用」及び「加工乳・成分調整牛乳うち、成分調整牛乳」の調査項目を追加した。
また、「牛乳」及び「加工乳・成分調整牛乳」の調査定義についても変更している。

3　乳製品の生産量 (平成 18 年6・7月分)

単位 : kg

年次別	加糖れん乳	無糖れん乳	全粉乳	調整粉乳	バター	クリーム	チーズ	直接消費用ナチュラルチーズ	脱脂加糖れん乳	脱脂粉乳	アイスクリーム
平. 15年	33,921,301	1,738,348	16,136,416	36,956,872	80,079,169	89,240,563	118,778,418	13,635,238	6,453,454	182,618,053	103,433
平. 16年	34,599,434	1,648,600	14,941,881	34,758,079	80,097,103	83,056,277	119,571,781	12,322,509	5,658,212	182,657,036	112,622
平. 17年	34,366,005	1,256,435	14,366,442	32,037,162	84,070,040	82,437,250	122,549,203	13,470,898	6,736,543	186,766,087	116,320
平. 15年度	33,105,632	1,644,565	15,009,953	36,426,962	81,565,974	87,762,467	119,341,874	13,773,088	6,046,583	184,372,480	103,921
16	35,252,789	1,528,330	14,658,803	35,269,368	80,554,746	82,888,472	119,496,396	12,104,181	5,933,052	182,656,366	112,622
17	32,276,218	1,268,619	14,522,902	31,224,990	85,467,816	83,301,132	123,169,578	13,940,602	6,722,797	189,733,237	119,753
平. 17. 6	3,019,717	121,360	1,021,642	2,657,927	6,761,620	6,257,002	10,259,710	1,091,595	691,141	14,236,406	12,054
7	2,438,197	118,536	1,304,214	2,713,094	6,354,854	6,683,210	9,702,316	1,132,064	509,769	14,451,187	12,177
8	2,424,109	125,055	776,775	2,136,061	7,165,359	6,384,737	9,388,428	1,118,109	716,086	15,400,141	12,472
9	1,505,077	113,025	852,289	1,719,069	5,005,991	6,692,285	10,328,678	1,230,950	404,146	11,844,095	10,695
0	1,917,149	64,377	1,019,419	2,721,828	5,897,004	6,994,407	10,875,091	1,319,609	482,376	13,741,947	9,950
11	2,738,725	86,211	1,266,395	2,987,097	6,099,046	7,503,338	11,308,497	1,297,547	401,369	14,741,477	9,694
12	2,825,997	131,046	853,359	2,778,537	7,625,838	8,877,189	10,740,068	1,231,877	661,156	18,959,829	8,326
平. 18. 1	3,247,390	98,683	1,827,388	2,231,747	8,777,959	6,670,034	9,605,433	1,216,902	461,663	18,487,385	6,974
2	2,637,389	56,935	1,178,982	3,077,298	7,453,963	6,386,298	9,348,085	1,171,409	409,167	15,799,689	7,095
3	3,349,456	142,290	1,472,411	2,714,440	8,460,314	7,486,921	10,569,880	1,098,805	598,774	18,606,720	11,159
4	3,133,425	97,583	1,416,620	2,735,763	7,976,678	6,823,863	11,190,570	1,338,660	687,538	17,033,520	10,612
5	3,648,362	87,584	1,403,804	2,744,652	8,050,439	6,986,726	9,599,902	1,268,407	697,043	16,689,190	12,004
6	3,145,721	61,233	624,466	2,510,194	6,721,230	6,686,764	10,045,903	1,322,618	642,933	14,732,498	12,040
7	2,570,056	91,715	1,423,099	2,780,332	6,044,004	6,693,562	10,165,896	1,289,176	450,303	13,538,400	12,269
対前年同月比(%)	105	77	109	103	95	100	105	114	88	94	101
平. 18. 1月から平. 18. 7月までの累計	21,731,799	636,023	9,346,770	18,794,426	53,484,587	47,734,168	70,525,669	8,705,977	3,947,421	114,887,402	72,153
平. 18. 4月から平. 18. 7月までの累計	12,497,564	338,115	4,867,989	10,770,941	28,792,351	27,190,915	41,002,271	5,218,861	2,477,817	61,993,608	46,925
うち北海道											
平. 17. 6	1,384,950	61,590	976,692	-	6,159,435	5,436,665	986,386	986,386	511,250	12,934,941	391
7	1,012,306	51,130	1,124,589	-	5,475,673	5,834,651	1,027,241	1,027,241	336,669	12,543,549	357
8	913,123	57,000	634,850	-	6,140,823	5,505,511	1,009,996	1,009,996	322,258	13,229,575	387
9	881,784	69,300	825,989	-	4,730,228	5,854,175	1,119,362	1,119,362	208,150	11,023,349	244
10	1,070,226	43,591	926,644	-	5,386,181	6,138,704	1,186,576	1,186,576	206,450	12,448,088	344
11	1,083,344	57,357	1,103,395	-	5,397,620	6,590,626	1,166,674	1,166,674	224,640	13,008,986	294
12	993,035	73,313	441,934	-	6,072,509	7,696,831	1,097,879	1,097,879	278,657	15,433,297	157
平. 18. 1	1,358,924	44,987	1,155,938	-	6,911,408	5,754,086	1,134,415	1,134,415	332,710	14,751,544	61
2	1,001,223	44,086	1,031,257	-	5,931,421	5,508,158	1,071,404	1,071,404	308,315	12,684,445	64
3	1,286,769	77,899	1,002,811	-	6,295,483	6,425,681	983,714	983,714	403,598	14,178,933	71
4	1,141,089	49,883	1,047,120	-	6,046,167	5,845,352	1,213,119	1,213,119	472,853	13,100,668	88
5	1,541,503	64,379	1,047,929	-	6,496,239	6,020,181	1,159,893	1,159,893	426,794	13,628,299	119
6	1,300,988	50,550	483,041	-	5,883,761	5,840,828	1,218,492	1,218,492	397,852	12,998,480	128
7	1,071,414	54,762	1,270,749	-	5,306,823	5,822,282	1,178,514	1,178,514	405,780	11,894,921	137
対前年同月比 (%)	106	107	113	-	97	100	115	115	121	95	38
平. 18. 1月から平. 18. 7月までの累計	8,701,910	386,546	7,038,845	-	42,871,302	41,216,568	7,959,551	7,959,551	2,747,902	93,237,290	668
平. 18. 4月から平. 18. 7月までの累計	5,054,994	219,574	3,848,839	-	23,732,990	23,528,643	4,770,018	4,770,018	1,703,279	51,622,368	472

注：　平成 15 年 4 月調査より、「牛乳うち、業務用」、「加工乳・成分調整牛乳うち、業務用」及び「加工乳・成分調整牛乳うち、成分調整牛乳」の調査項目を追加した。
　　また、「牛乳」及び「加工乳・成分調整牛乳」の調査定義についても変更している。

4-1 生乳生産量と用途別処理量（平成 18 年６月）

単位：t

農業地域・都道府県	生乳生産量	生乳流通量		用途別処理量					対前年同月比					
		移入量	移出量	処理量計	牛乳等向け	うち業務用	乳製品向け	その他	前年同月生乳生産量	生乳生産量前月対同月年比	用途別処理量 牛乳等向け 前年同月	牛乳等向け前月対同月年比	乳製品向け 前年同月	乳製品向け前月対同月年比
全国	689,892	388,343	388,343	689,892	404,508	22,145	278,816	6,568	700,474	% 100	419,052	% 97	274,623	% 103
（農業地域）														
北海道	323,679	-	33,071	290,608	45,358	3,982	242,214	3,036	327,879	101	46,619	99	243,050	103
東北	60,818	26,231	43,397	43,652	32,112	1,061	10,867	673	61,738	99	34,411	95	10,871	99
北陸	11,607	3,667	3,544	11,730	11,465	503	162	103	11,642	98	12,648	89	162	150
関東	106,322	213,354	178,785	140,891	129,241	7,001	10,356	1,294	107,180	101	133,673	97	6,406	118
東山	13,287	6,816	8,237	11,866	10,295	545	1,467	104	13,324	100	10,253	105	1,367	100
東海	40,979	15,998	12,769	44,208	41,804	2,511	2,101	303	40,410	101	43,847	93	1,448	111
近畿	21,400	80,505	49,930	51,975	50,391	3,471	1,460	124	21,877	98	51,198	101	1,132	108
中国	29,396	13,148	7,532	35,012	32,029	943	2,800	183	29,290	101	32,235	101	2,519	100
四国	14,312	6,239	8,921	11,630	10,054	730	1,401	175	14,572	99	10,672	97	1,505	117
九州	65,162	22,352	42,157	45,357	38,921	1,372	5,873	563	69,213	96	40,504	96	6,026	95
沖縄	2,930	33	-	2,963	2,838	26	115	10	3,349	90	2,992	99	137	95
（都道府県）														
北海道	323,679	-	33,071	290,608	45,358	3,982	242,214	3,036	327,879	101	46,619	99	243,050	103
青森	6,559	87	5,535	1,111	1,054	87	26	31	6,703	99	998	112	29	90
岩手	20,643	12,134	17,340	15,437	7,299	80	7,862	276	21,065	97	7,916	93	7,345	104
宮城	12,794	8,272	8,706	12,360	11,925	376	294	141	13,050	99	12,846	96	255	95
秋田	3,163	1,052	1,981	2,234	2,175	-	-	59	3,042	104	2,328	89	16	-
山形	7,939	372	5,021	3,290	3,177	129	1	112	8,042	98	3,336	98	2	200
福島	9,720	4,314	4,814	9,220	6,482	389	2,684	54	9,836	100	6,987	92	3,224	90
茨城	15,917	16,422	5,661	26,678	19,945	413	6,472	261	15,828	99	21,080	92	3,495	123
栃木	27,564	5,781	18,935	14,410	13,965	-	144	301	27,458	104	15,129	90	125	91
群馬	23,381	5,456	12,134	16,703	15,366	1,917	1,163	174	23,022	103	14,324	120	1,205	107
埼玉	8,000	18,896	8,598	18,298	17,553	2,138	611	134	8,325	99	18,064	96	101	116
千葉	23,917	14,435	16,435	21,917	21,465	1,164	115	337	24,657	100	23,726	88	95	75
東京	1,241	124,262	114,523	10,980	9,547	638	1,422	11	1,260	98	10,814	89	1,123	107
神奈川	6,302	28,102	2,499	31,905	31,400	731	429	76	6,630	96	30,536	106	262	167
新潟	6,410	406	2,057	4,759	4,551	174	155	53	6,487	98	4,595	95	147	143
富山	1,730	10	143	1,597	1,570	4	3	24	1,583	102	1,927	87	12	333
石川	2,510	2,291	907	3,894	3,873	317	4	17	2,609	97	4,273	93	3	80
福井	957	960	437	1,480	1,471	8	-	9	963	97	1,853	71	-	-
山梨	1,905	278	1,776	407	59	-	324	24	1,957	102	80	58	383	96
長野	11,382	6,538	6,461	11,459	10,236	545	1,143	80	11,367	99	10,173	105	984	101
岐阜	4,946	1,521	1,148	5,319	5,225	83	28	66	5,182	97	6,104	84	23	138
静岡	9,467	2,909	3,149	9,227	8,173	421	953	101	9,331	99	8,875	88	842	106
愛知	21,590	11,544	6,248	26,886	25,738	1,997	1,038	110	20,862	102	26,202	96	522	115
三重	4,976	24	2,224	2,776	2,668	10	82	26	5,035	100	2,666	99	61	84
滋賀	2,331	1,727	2,004	2,054	1,975	-	78	1	2,408	96	2,417	93	68	67
京都	3,069	17,050	2,849	17,270	17,249	1,746	2	19	3,055	103	15,658	119	2	100
大阪	1,356	45,840	35,722	11,474	11,000	328	464	10	1,358	98	12,715	82	487	104
兵庫	11,383	15,888	6,199	21,072	20,066	1,397	914	92	11,849	96	20,296	101	575	118
奈良	2,885	x	2,869	x	x	x	x	x	2,960	100	x	x	x	x
和歌山	376	x	287	x	x	x	x	x	247	151	x	x	x	x
鳥取	5,454	x	115	x	x	x	x	x	5,442	102	x	x	x	x
島根	5,404	24	3,573	1,855	1,778	19	58	19	5,459	100	1,769	92	53	56
岡山	10,543	5,386	3,386	12,543	11,556	520	908	79	10,469	100	10,096	114	830	93
広島	5,847	5,783	390	11,240	11,196	161	27	17	5,743	100	12,906	89	21	112
山口	2,148	x	68	x	x	x	x	x	2,177	102	x	x	x	x
徳島	4,022	675	2,581	2,116	1,954	27	124	38	4,211	96	2,267	88	293	79
香川	3,499	4,199	3,942	3,756	3,661	85	41	54	3,601	98	3,913	95	38	73
愛媛	4,315	x	989	x	x	x	x	x	4,352	100	x	x	x	x
高知	2,476	x	1,409	x	x	x	x	x	2,408	103	x	x	x	x
福岡	9,561	12,558	4,184	17,935	16,470	539	1,383	82	10,330	94	16,977	96	1,340	96
佐賀	2,516	812	471	2,857	2,825	25	11	21	2,622	98	3,051	83	6	133
長崎	5,505	-	3,917	1,588	1,558	21	5	25	5,660	98	1,688	87	5	100
熊本	22,040	4,827	15,910	10,957	8,136	381	2,595	226	23,490	96	8,476	97	1,968	100
大分	8,650	127	4,635	4,142	3,107	67	957	78	9,249	92	3,204	113	1,525	92
宮崎	8,806	4,028	6,367	6,467	5,737	336	630	100	9,260	96	5,874	105	983	83
鹿児島	8,084	-	6,673	1,411	1,088	3	292	31	8,602	96	1,234	71	199	114
沖縄	2,930	33	-	2,963	2,838	26	115	10	3,349	90	2,992	99	137	95

注：1 生乳流通量のうち、移入量は工場・処理場が県外生産者又は県外工場・処理場から生乳を受乳した量であり、
移出量は、生産者又は工場・処理場が県外工場・処理場へ送乳した量である。

2 農業地域別の生乳流通量は、地域内の県別の移入量、移出量をそれぞれ積み上げたものである。

4-2 生乳生産量と用途別処理量（平成 18 年７月）

単位：t

農業地域・都道府県	生乳生産量	生乳流通量		用途別処理量					対前年同月比					
		移入量	移出量	処理量計	牛乳等向け	うち業務用	乳製品向け	その他	前年同月生乳生産量	生乳生産量対前月年同月比	用途別処理量			
											前年同月牛乳等向け	牛乳等向け対前月年同月比	前年同月乳製品向け	乳製品向け対前月年同月比
全国	687,062	398,649	398,649	687,062	404,661	23,655	275,600	6,801	706,865	% 100	415,629	% 96	284,328	% 104
（農業地域）														
北海道	327,218	-	38,339	288,879	48,064	4,167	237,625	3,190	337,215	101	47,329	98	242,961	103
東北	61,138	27,729	44,319	44,548	31,633	1,102	12,228	687	63,552	99	34,240	94	13,853	105
北陸	11,470	3,737	3,564	11,643	11,257	583	285	101	11,626	100	12,529	92	198	119
関東	105,937	218,647	182,359	142,225	129,499	7,978	11,369	1,357	107,353	100	130,440	95	11,073	156
東山	13,260	7,014	8,207	12,067	10,513	597	1,450	104	13,369	99	10,371	101	1,809	106
東海	39,940	16,107	12,968	43,079	41,044	2,070	1,742	293	39,699	102	43,392	92	2,005	120
近畿	20,984	82,575	52,425	51,134	49,408	3,605	1,574	152	21,627	97	50,228	100	1,333	124
中国	28,770	13,547	7,621	34,696	32,138	1,018	2,378	180	28,806	100	32,071	100	2,708	102
四国	13,549	6,322	8,049	11,822	10,331	791	1,324	167	14,174	98	10,670	96	1,418	103
九州	61,977	22,809	40,683	44,103	38,042	1,716	5,506	555	66,234	94	41,414	95	6,844	94
沖縄	2,819	162	115	2,866	2,732	28	119	15	3,210	90	2,945	92	126	92
（都道府県）														
北海道	327,218	-	38,339	288,879	48,064	4,167	237,625	3,190	337,215	101	47,329	98	242,961	103
青森	6,615	66	5,699	982	925	60	26	31	7,077	99	957	105	26	83
岩手	20,988	12,668	17,578	16,078	7,331	124	8,467	280	21,881	98	8,111	92	8,679	119
宮城	12,701	8,407	8,688	12,420	11,971	453	303	146	13,276	99	12,943	94	268	91
秋田	3,138	1,035	2,051	2,122	2,056	-	-	66	3,140	106	2,196	94	16	-
山形	8,047	332	5,224	3,155	3,042	105	2	111	8,191	100	3,188	97	2	50
福島	9,649	5,221	5,079	9,791	6,308	360	3,430	53	9,987	100	6,845	90	4,862	80
茨城	15,582	17,369	5,352	27,599	20,201	435	7,047	351	15,865	99	21,316	91	7,344	166
栃木	27,770	5,776	18,213	15,333	14,900	-	131	302	27,915	104	15,427	89	158	91
群馬	23,581	5,371	11,939	17,013	15,545	2,254	1,306	162	23,127	101	14,049	106	1,129	125
埼玉	7,813	19,051	8,330	18,534	17,613	2,321	793	128	8,274	100	17,048	97	728	140
千葉	23,862	15,670	18,684	20,848	20,419	1,142	102	327	24,422	98	22,469	87	117	99
東京	1,211	127,417	117,001	11,627	10,046	757	1,570	11	1,239	98	10,497	89	1,229	175
神奈川	6,118	27,993	2,840	31,271	30,775	1,069	420	76	6,511	95	29,634	104	368	157
新潟	6,407	475	2,013	4,869	4,538	261	277	54	6,455	100	4,480	104	189	119
富山	1,685	11	216	1,480	1,453	5	4	23	1,602	105	1,739	86	4	-
石川	2,441	2,291	937	3,795	3,776	307	4	15	2,606	97	4,383	90	5	100
福井	937	960	398	1,499	1,490	10	-	9	963	98	1,927	73	-	-
山梨	1,923	268	1,803	388	62	-	302	24	1,977	100	84	69	393	89
長野	11,337	6,746	6,404	11,679	10,451	597	1,148	80	11,392	99	10,287	102	1,416	111
岐阜	4,986	1,495	1,176	5,305	5,167	93	65	73	5,127	98	5,874	87	72	124
静岡	9,097	3,091	3,108	9,080	8,120	527	859	101	9,137	102	8,623	89	826	117
愛知	21,080	11,464	6,469	26,075	25,219	1,445	772	84	20,566	103	26,346	95	992	120
三重	4,777	57	2,215	2,619	2,538	5	46	35	4,869	99	2,549	95	115	217
滋賀	2,326	1,583	2,175	1,734	1,651	-	83	-	2,411	96	2,122	90	108	101
京都	3,084	17,939	2,934	18,089	18,070	1,879	2	17	3,040	102	17,597	111	2	100
大阪	1,344	47,511	37,978	10,877	10,234	301	600	43	1,332	99	10,349	86	614	99
兵庫	11,061	15,542	6,278	20,325	19,348	1,425	887	90	11,658	95	20,054	102	609	144
奈良	2,810	x	2,794	x	x	x	x	x	2,942	98	x	x	x	x
和歌山	359	x	266	x	x	x	x	x	244	148	x	x	x	x
鳥取	5,323	x	188	x	x	x	x	x	5,530	102	x	x	x	x
島根	5,227	29	3,510	1,746	1,635	25	93	18	5,350	99	1,798	99	52	73
岡山	10,248	5,793	3,464	12,577	11,797	535	704	76	10,076	100	10,217	113	968	91
広島	5,914	5,645	393	11,166	11,137	191	10	19	5,744	100	12,705	90	23	121
山口	2,058	x	66	x	x	x	x	x	2,106	100	x	x	x	x
徳島	3,876	904	2,304	2,476	2,156	32	284	36	4,039	96	2,182	89	316	40
香川	3,361	4,138	3,667	3,832	3,736	114	44	52	3,468	97	3,991	92	47	96
愛媛	4,021	x	808	x	x	x	x	x	4,267	99	x	x	x	x
高知	2,291	x	1,270	x	x	x	x	x	2,400	101	x	x	x	x
福岡	9,119	12,189	4,456	16,852	15,350	703	1,422	80	9,963	91	16,865	93	1,575	97
佐賀	2,359	803	315	2,847	2,816	24	9	22	2,510	99	3,126	89	6	220
長崎	5,244	-	3,740	1,504	1,477	17	3	24	5,332	98	1,612	97	4	100
熊本	21,037	5,951	15,939	11,049	8,518	481	2,308	223	22,686	94	9,321	100	3,681	105
大分	8,348	110	4,715	3,743	3,182	136	486	75	8,959	92	3,294	100	678	65
宮崎	8,293	3,756	5,291	6,758	5,681	354	983	94	8,836	96	6,032	95	767	88
鹿児島	7,577	-	6,227	1,350	1,018	1	295	37	7,948	96	1,164	101	133	117
沖縄	2,819	162	115	2,866	2,732	28	119	15	3,210	90	2,945	92	126	92

注：1 生乳流通量のうち、移入量は工場・処理場が県外生産者又は県外工場・処理場から生乳を受乳した量であり、移出量は、生産者又は工場・処理場が県外工場・処理場へ送乳した量である。

2 農業地域別の生乳流通量は、地域内の県別の移入量、移出量をそれぞれ積み上げたものである。

５－１ 牛乳等の生産量と流通量（平成 18 年６月）

単位：kℓ

農業地域・都道府県	飲用牛乳等生産量						飲用牛乳等流通量		乳飲料生産量	対前年同月比	
	生産量										
	計	牛乳	うち業務用	加工乳・成分調整牛乳	うち業務用	うち成分調整牛乳	移入量	移出量		飲用牛乳等生産量	乳飲料生産量
										%	%
全国	360 233	323 151	21 089	37 082	1 526	16 743	106 803	106 803	106 596	94.8	100.1
（農業地域）											
北海道	41 951	36 094	3 482	5 857	75	5 086	36	22 394	2 920	99.4	93.3
東北	28 935	26 807	1 015	2 128	18	652	3 998	5 111	5 989	93.7	101.0
北陸	11 022	9 861	487	1 161	-	174	3 603	2 414	1 766	92.2	112.7
関東	112 749	100 031	6 747	12 718	1 272	3 516	47 489	33 954	35 669	94.6	99.2
東山	10 919	9 318	527	1 601	-	1 527	2 495	3 446	236	99.9	103.5
東海	35 820	33 938	2 437	1 882	6	675	8 003	5 714	16 706	96.0	90.4
近畿	45 196	41 762	3 387	3 434	-	849	26 274	15 253	19 017	95.8	99.8
中国	26 700	22 569	883	4 131	141	2 562	3 184	6 407	12 091	98.6	111.3
四国	10 198	8 604	739	1 594	-	776	1 901	2 323	2 046	94.1	87.2
九州	33 524	31 794	1 362	1 730	-	926	9 788	9 787	9 418	86.1	115.0
沖縄	3 219	2 373	23	846	14	-	32	-	738	96.7	98.3
（都道府県）											
北海道	41 951	36 094	3 482	5 857	75	5 086	36	22 394	2 920	99.4	93.3
青森	1 087	968	87	119	-	-	1 079	25	10	105.7	100.0
岩手	7 526	6 196	79	1 330	-	256	105	4 043	573	96.0	105.1
宮城	9 841	9 677	346	164	15	96	1 297	196	3 624	91.6	105.1
秋田	1 901	1 702	-	199	-	192	330	15	464	90.3	137.3
山形	3 098	2 986	127	112	-	-	37	393	68	97.0	68.0
福島	5 482	5 278	376	204	3	108	1 150	439	1 250	92.1	83.8
茨城	18 782	17 089	411	1 693	-	88	1 249	5 900	3 805	94.0	99.1
栃木	11 916	11 668	-	248	-	134	811	3 418	357	84.6	77.3
群馬	12 295	9 725	1 865	2 570	-	855	2 269	1 939	2 455	95.7	128.3
埼玉	14 942	13 589	1 999	1 353	129	608	11 610	8 140	6 934	98.3	98.0
千葉	19 439	18 191	1 126	1 248	-	67	2 109	7 167	8 181	88.2	90.7
東京	7 740	5 714	640	2 026	1 143	883	23 956	2 896	9 364	89.8	103.3
神奈川	27 635	24 055	706	3 580	-	881	5 485	4 494	4 573	104.6	100.3
新潟	4 284	3 742	169	542	-	-	1 188	153	285	98.6	96.3
富山	1 461	1 364	4	97	-	33	578	143	55	90.2	105.8
石川	3 925	3 581	306	344	-	141	986	2 058	966	90.4	190.9
福井	1 352	1 174	8	178	-	-	851	60	460	81.9	64.5
山梨	30	30	-	-	-	-	1 765	-	-	75.0	-
長野	10 889	9 288	527	1 601	-	1 527	730	3 446	236	100.0	103.5
岐阜	3 920	3 862	82	58	-	16	865	1 415	4 545	86.2	83.2
静岡	6 936	6 573	423	363	-	45	1 465	234	1 054	90.0	92.5
愛知	22 613	21 401	1 922	1 212	6	377	5 022	3 671	10 831	98.7	93.7
三重	2 351	2 102	10	249	-	237	651	394	276	109.6	87.6
滋賀	2 025	1 901	-	124	-	-	1 158	415	37	81.5	86.0
京都	14 337	14 149	1 710	188	-	-	5 905	6 935	6 534	107.2	95.0
大阪	10 039	9 009	324	1 030	-	-	13 763	1 995	2 836	77.6	94.0
兵庫	18 707	16 615	1 353	2 092	-	849	3 045	5 906	9 603	102.4	105.5
奈良	x	x	x	x	x	x	1 453	x	x	x	x
和歌山	x	x	x	x	x	x	950	x	x	x	x
鳥取	x	x	x	x	x	x	198	x	x	x	x
島根	1 572	1 566	15	6	-	5	302	306	142	95.2	95.9
岡山	9 968	8 408	473	1 560	141	750	1 456	1 653	6 114	116.7	110.4
広島	8 680	7 178	161	1 502	-	1 265	887	1 184	4 054	84.7	119.6
山口	x	x	x	x	x	x	341	x	x	x	x
徳島	1 838	1 516	27	322	-	315	796	-	131	83.1	62.1
香川	3 695	3 121	83	574	-	-	135	1 401	1 262	93.1	86.6
愛媛	x	x	x	x	x	x	525	x	x	x	x
高知	x	x	x	x	x	x	445	x	x	x	x
福岡	13 986	13 614	535	372	-	180	3 691	3 982	3 682	94.5	81.0
佐賀	2 074	2 073	25	1	-	-	343	846	1 697	36.1	56 566.7
長崎	1 435	1 428	21	7	-	-	1 369	87	299	91.9	122.5
熊本	7 050	6 876	371	174	-	163	824	2 792	2 310	95.7	116.6
大分	2 868	2 717	68	151	-	-	767	157	214	93.6	72.3
宮崎	5 142	4 165	339	977	-	583	374	1 775	781	97.8	101.0
鹿児島	969	921	3	48	-	-	2 420	148	435	85.8	124.3
沖縄	3 219	2 373	23	846	14	-	32	-	738	96.7	98.3

注：1 飲用牛乳等の流通量のうち、移入量は工場・処理場が県外工場・処理場から入荷した量であり、移出量は県外工場・処理場へ出荷した量である。

2 農業地域別の飲用牛乳等の流通量は、地域内の県別の移入量、移出量をそれぞれ積み上げたものである。

５－２ 牛乳等の生産量と流通量（平成 17 年７月）

単位：kℓ

農業地域・都道府県	飲用牛乳等 生産量 計	牛乳	うち、業務用	加工乳・成分調整牛乳	うち、業務用	うち、成分調整牛乳	流通量 移入量	移出量	乳飲料生産量	対前年同月比 飲用牛乳等生産量	乳飲料生産量
全国	369,823	327,333	20,812	42,490	1,477	18,902	112,941	112,941	111,878	% 93	% 99
（農業地域）											
北海道	42,684	37,596	4,052	5,088	174	4,074	35	24,175	3,607	98	103
東北	29,973	27,754	933	2,219	24	643	4,255	5,398	6,438	93	108
北陸	11,362	10,069	454	1,293	-	296	3,739	2,864	1,502	91	86
関東	113,941	100,576	6,881	13,365	1,114	4,024	48,326	34,212	37,239	92	96
東山	10,844	9,283	331	1,561	-	1,484	2,420	3,341	243	98	97
東海	36,622	34,774	1,881	1,848	7	694	8,157	6,932	18,688	93	83
近畿	45,658	41,799	3,200	3,859	2	950	27,925	14,804	20,418	89	116
中国	26,616	21,879	698	4,737	137	2,861	4,582	6,736	12,527	96	109
四国	10,527	8,360	659	2,167	-	1,247	2,232	2,515	2,444	96	102
九州	38,344	32,903	1,704	5,441	-	2,629	11,242	11,964	7,920	95	96
沖縄	3,252	2,340	19	912	19	-	28	-	852	100	91
（都道府県）											
北海道	42,684	37,596	4,052	5,088	174	4,074	35	24,175	3,607	98	103
青森	983	857	70	126	3	-	1,458	23	11	110	220
岩手	7,999	6,784	124	1,215	-	154	162	4,264	642	96	98
宮城	10,454	10,181	379	273	18	134	1,063	267	3,814	89	108
秋田	1,980	1,708	-	272	-	262	355	143	318	92	81
山形	3,044	2,915	104	129	-	-	76	388	70	93	51
福島	5,513	5,309	256	204	3	93	1,141	313	1,583	96	126
茨城	19,996	18,116	343	1,880	-	179	1,244	5,648	3,726	97	90
栃木	13,618	13,336	2	282	-	129	697	4,198	581	91	141
群馬	12,638	9,646	1,664	2,992	-	856	2,395	2,060	2,487	101	95
埼玉	14,501	13,223	2,077	1,278	231	476	12,198	8,617	7,130	87	106
千葉	19,719	18,304	1,425	1,415	-	76	2,093	7,544	9,181	89	102
東京	8,249	6,051	718	2,198	883	1,315	23,662	2,443	9,539	78	88
神奈川	25,220	21,900	652	3,320	-	993	6,037	3,702	4,595	96	87
新潟	4,059	3,476	221	583	-	-	1,324	1	314	80	61
富山	1,357	1,252	4	105	-	23	626	160	55	89	82
石川	4,268	3,865	220	403	-	97	1,015	2,250	499	103	85
福井	1,678	1,476	9	202	-	176	774	453	634	96	109
山梨	44	44	-	-	-	-	1,621	-	-	79	-
長野	10,800	9,239	331	1,561	-	1,484	799	3,341	243	98	97
岐阜	4,304	4,235	128	69	-	27	1,064	1,647	5,504	90	85
静岡	7,221	6,866	563	355	-	47	1,527	508	1,307	90	202
愛知	22,985	21,814	1,186	1,171	7	461	4,939	4,398	11,530	98	77
三重	2,112	1,859	4	253	-	159	627	379	347	68	89
滋賀	2,187	1,989	-	198	-	-	1,083	564	46	91	92
京都	15,312	15,019	1,560	293	-	-	6,521	6,172	7,931	107	135
大阪	10,212	8,668	291	1,544	2	-	14,299	1,960	2,990	70	120
兵庫	17,855	16,031	1,349	1,824	-	950	3,763	6,105	9,444	90	103
奈良	x	x	x	x	x	x	1,333	x	x	x	x
和歌山	x	x	x	x	x	x	926	x	x	x	x
鳥取	x	x	x	x	x	x	261	x	x	x	x
島根	1,516	1,492	14	24	-	23	285	324	145	92	89
岡山	8,582	7,270	450	1,312	137	524	1,941	1,099	5,942	109	118
広島	10,124	8,109	141	2,015	-	1,716	1,673	1,770	4,477	91	103
山口	x	x	x	x	x	x	422	x	x	x	x
徳島	2,074	1,381	30	693	-	670	750	-	175	96	625
香川	3,932	3,383	148	549	-	-	171	1,525	1,588	97	99
愛媛	x	x	x	x	x	x	587	x	x	x	x
高知	x	x	x	x	x	x	724	x	x	x	x
福岡	14,243	13,771	763	472	-	291	4,831	3,733	4,048	92	99
佐賀	5,591	2,160	21	3,431	-	1,602	393	3,815	3	92	100
長崎	1,451	1,443	35	8	-	-	1,518	110	340	83	236
熊本	7,898	7,717	375	181	-	170	1,405	2,573	2,175	100	108
大分	2,994	2,812	157	182	-	-	550	141	196	118	36
宮崎	5,132	4,020	352	1,112	-	566	490	1,409	807	98	74
鹿児島	1,035	980	1	55	-	-	2,055	183	351	67	93
沖縄	3,252	2,340	19	912	19	-	28	-	852	100	91

注：1 飲用牛乳等の流通量のうち、移入量とは、工場・処理場が県外工場・処理場から入荷した量であり、移出量は、県外工場・処理場へ出荷した量である。

2 農業地域別の飲用牛乳等の流通量は、地域内の県別の移入量、移出量をそれぞれ積み上げたものである。

6　容器容量別牛乳生産量（平成 18 年７月）

単位：kℓ

農業地域・都道府県	計	ガラス瓶		ポリ加工紙		その他
		500ml 未満	500ml 以上	500ml 未満	５００ｍｌ以上	
全国	318,280	15,499	6,665	34,931	242,088	19,097
（農業地域）						
北海道	38,095	285	142	3,357	31,444	2,867
東北	26,296	1,510	467	3,319	19,765	1,235
北陸	9,132	751	99	1,595	6,132	555
関東	98,649	3,545	1,871	10,761	75,896	6,576
東山	9,206	963	293	226	7,078	646
東海	32,471	2,459	314	3,710	23,965	2,023
近畿	41,046	2,282	333	3,551	32,409	2,471
中国	22,273	1,633	1,664	1,846	16,443	687
四国	8,439	708	57	1,183	5,754	737
九州	30,486	1,344	1,422	4,747	21,681	1,292
沖縄	2,187	19	3	636	1,521	8
（都道府県）						
北海道	38,095	285	142	3,357	31,444	2,867
青森	836	31	3	278	464	60
岩手	6,326	448	193	569	4,998	118
宮城	9,731	400	48	1,167	7,425	691
秋田	1,570	79	9	146	1,332	4
山形	2,819	198	-	503	2,053	65
福島	5,014	354	214	656	3,493	297
茨城	17,365	206	123	1,015	15,592	429
栃木	12,783	107	771	550	11,335	20
群馬	9,840	543	344	506	6,008	2,439
埼玉	13,377	731	4	3,293	7,800	1,549
千葉	16,496	1,179	622	2,369	12,133	193
東京	5,726	242	7	863	3,694	920
神奈川	23,062	537	-	2,165	19,334	1,026
新潟	3,554	166	48	884	2,203	253
富山	1,195	109	16	380	689	1
石川	3,386	306	35	285	2,469	291
福井	997	170	-	46	771	10
山梨	33	1	3	-	29	-
長野	9,173	962	290	226	7,049	646
岐阜	3,645	151	103	656	2,620	115
静岡	6,160	132	119	944	4,439	526
愛知	20,650	2,055	25	1,788	15,404	1,378
三重	2,016	121	67	322	1,502	4
滋賀	1,573	28	6	383	1,156	-
京都	15,030	199	-	730	13,260	841
大阪	8,218	1,658	233	850	5,164	313
兵庫	16,136	335	84	1,584	12,818	1,315
奈良	x	x	x	x	x	x
和歌山	x	x	x	x	x	x
鳥取	x	x	x	x	x	x
島根	1,462	66	145	263	963	25
岡山	8,347	568	244	541	6,850	144
広島	7,188	404	290	640	5,593	261
山口	x	x	x	x	x	x
徳島	1,557	43	3	272	1,208	31
香川	3,116	381	-	154	2,471	110
愛媛	x	x	x	x	x	x
高知	x	x	x	x	x	x
福岡	12,630	528	1,040	1,620	8,773	669
佐賀	2,044	199	16	304	1,504	21
長崎	1,352	35	61	374	865	17
熊本	6,956	208	121	764	5,408	455
大分	2,717	192	144	522	1,729	130
宮崎	3,967	58	-	895	3,014	-
鹿児島	820	124	40	268	388	-
沖縄	2,187	19	3	636	1,521	8